



Sekisan 係長

NR New construction and Renovation



Reform input

Estimate

Zoom Training

ユーザー研修コース

- 初心者研修1回 = システムの概要 メニュー解説 入力工程（作業の流れを説明）
3頁～22頁使用 もくじ参照
- 初心者研修2回 = 平面入力（間取り～インテリア）
23頁～49頁使用 もくじ参照
- 初心者屋根研修 = 屋根入力 自動生成と手動入力
50頁～63頁使用 もくじ参照
- 初心者製図研修 = 製図 作成条件～作成～レイアウト～印刷 流れを説明
64頁～66頁使用 もくじ参照
- 初心者積算研修 = 積算 計算前注意点・数量計算・修正 の流れを説明
67頁～83頁使用 もくじ参照
- デフォルトマスター設定 = デフォルト管理 マスター設定
84頁～98頁使用 もくじ参照

コースは変更する場合があります

もくじリフォーム編

- 1 システムの概要・・・3頁
- 2 メニューの解説・・・4～9頁
- 3 仕様入力・・・14～22頁
- 4 部屋入力・・・23～39頁
- 5 解体座標・・・40頁
- 6 梁構造壁・・・41頁
- 7 開口入力・開口仕様42～44頁
- 8 階段入力・・・45頁
- 9 線分入力・・・46・47頁
- 10 柱入力・・・48頁
- 11 インテリア・・・49頁
- 12 屋根入力・・・50～63頁
- 13 製図・・・64～66
- 14 積算・・・67～70
- 15 見積修正・単価金額修正・・・71～83
- 16 デフォルト変更・・・84～86
- 17 マスター作成・・・87～98

1 システムの概要

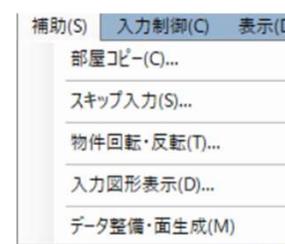
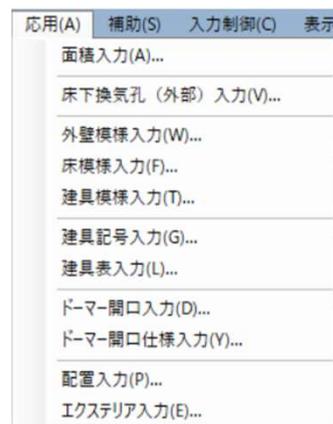
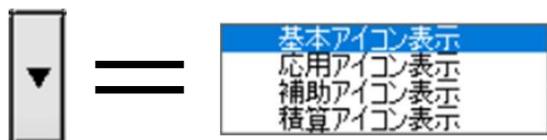
本システムは、簡単な間取り入力で正確な拾い出しの出来る稀有なシステムです。入力を簡単にして膨大な項目を拾い出すには、プログラム内で様々な根拠を関連付ける必要があります、その根拠は当然ですが建築に関するノウハウが必要です。ただ難しい所ですが、部位の仕上が固定されては使えません（屋根の拾いはガルバのみ等）そのため、入力で変更が必要となります、屋根も形状によっては、外壁の数値も変わります更に使用する材により下地材や付随する工事が変わったりするため、個別の拾い設定が必要です。このような様々な拾いを可能にするため、Sekisan係長NRでは、様々な根拠で拾い出ししています。

プログラムによる固定算出・仕上材の下地として算出・備品セットによる算出
・部屋名×ランクによる算出・部屋名×施工階による算出・作成した根拠から算出
と様々な根拠で拾い出しをしています。

上記の根拠をセットしているため、簡単な間取りの入力で様々な拾い出しが出来るわけです。

とは言え入力をしなければ拾い出しできません、簡単入力ですが慣れる事によりもっと簡単になります。その慣れのため本資料をご利用いただければと思います。

2 メニューの解説



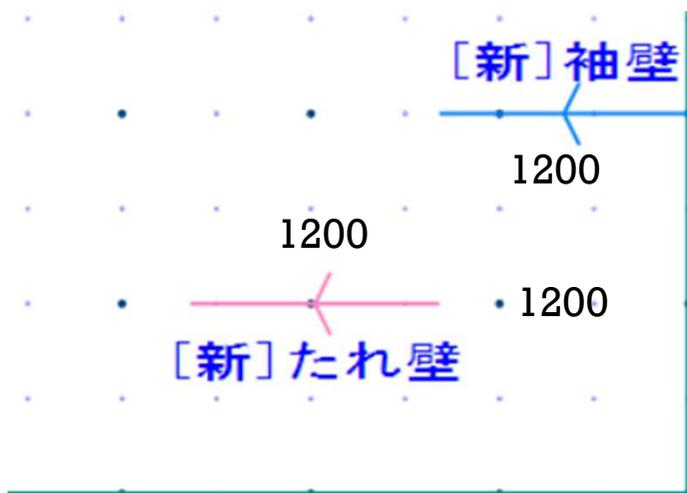
2-2 メニューの解説（間崩れ） 移動距離 指定点距離 補助線



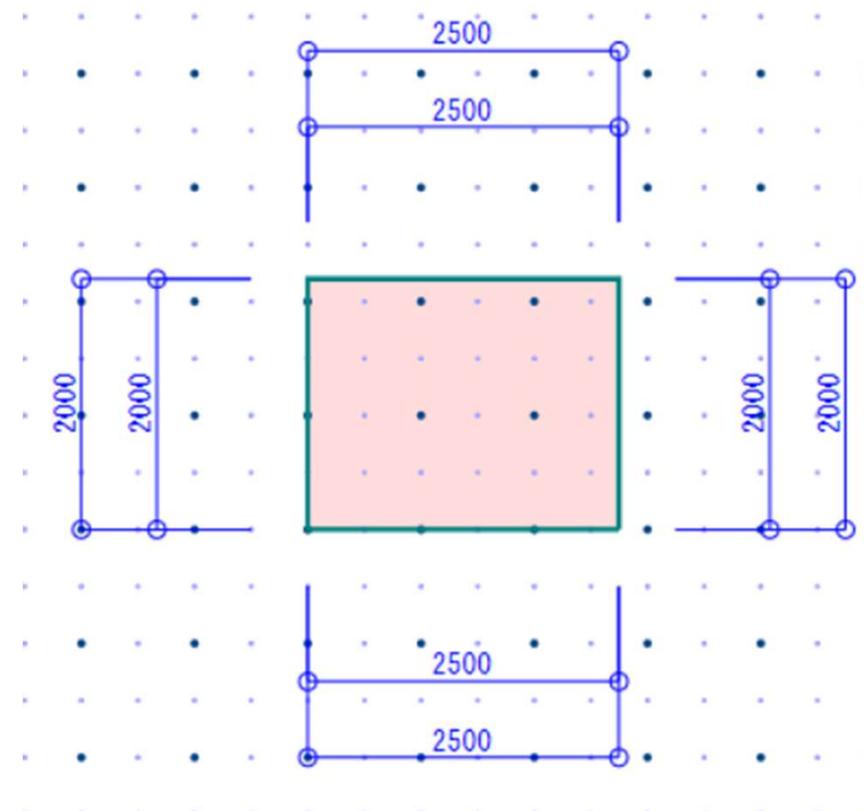
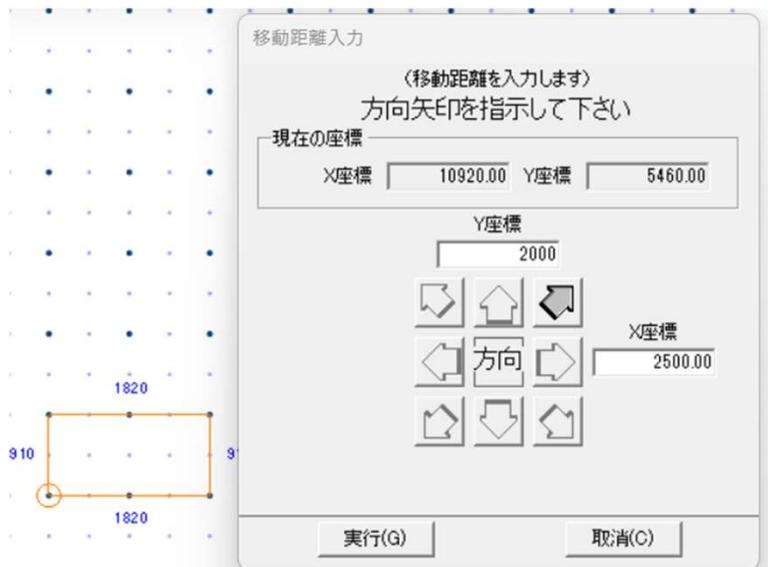
矢印クリックで対象の
数値が入力出来ます

移動距離 = 移動距離は今いる座標からの距離を数値入力できます。（入力中距離指定）

指定点距離 = 指定点距離は、これからクリックする座標からの距離を数値入力できます。（入力前距離指定）



2-3 メニューの解説（間崩れ） 移動距離 指定点距離 補助線



部屋入力間仕切り入力1
点目クリック後 右ク
リックメニューから移
動距離で右上方向指示
右2500上2000

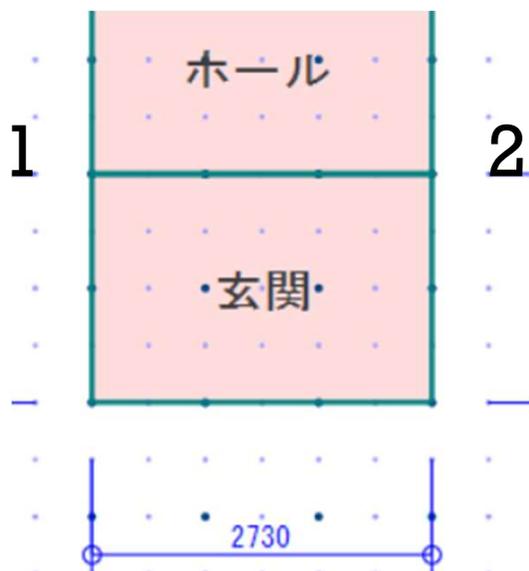
移動距離・指定点距離 各入力で使えます、使い方を覚える事で非常に便利です。

2-4 メニューの解説（間崩れ） 移動距離 指定点距離 補助線



移動距離・指定点距離のケースバイケース

玄関とホールの境に框を
入れようとしています
框は始終点の2点入力です



ケース1 框の長さが2000残りは壁 2側に壁が残ります

1側をクリックし移動距離で右を指定し2000入力後実行

ケース2 2側の壁の寸法が1000 残りが框

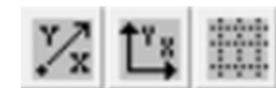
まず指定点距離で左を指定し1000を入力し、2をクリック
1000ずれた点で入力が始まりますので、2点目を1でクリック

ケース3 両端に300ずつ壁が残る框の入力

まず指定点距離で右300を入力し1をクリック、再度指定点距離
で左300を入力し2をクリック

★基本的な覚え方 1点目がグリッド上でない場合 指定点距離
2点目以降の距離入力 移動距離（そぐわないケース有り）

2-5 メニューの解説（間崩れ） 移動距離 指定点距離 補助線



- X軸平行・・・クリック点で画面に対し横の線が通ります
- Y軸平行・・・クリック点で画面に対し縦の線が通ります
- 線分平行・・・対象線をクリックし、通過点をクリックで平行な線が通ります
- 平行寸法指定・・・対象線をクリック後、方向・数値の順に入力し実行で通ります
- 2点間線分・・・2点クリックで点間に線が作成されます
- 垂線・・・対象線分を指定後通過点を指定する事で、対象線に直交する線が通ります
- 角度指定・・・基準点指定後、水平線を基準に反時計回りで線が通ります
0度水平3時方向 30度2時方向 60度1時方向 90度12時方向

重要な補助線は階別保存、通り芯なら全階保存

補助点

- 等分割点・・・2点間を等分割する点を作成します 3分割なら2点作成
- 円弧近似点・・・始終点指示後、通過点 分割数を入力で疑似円弧を作成
- 分割点・・・2点間にピッチを指示しながら点を作成
- 交点・・・2点各点で方向を指示し交点を作成

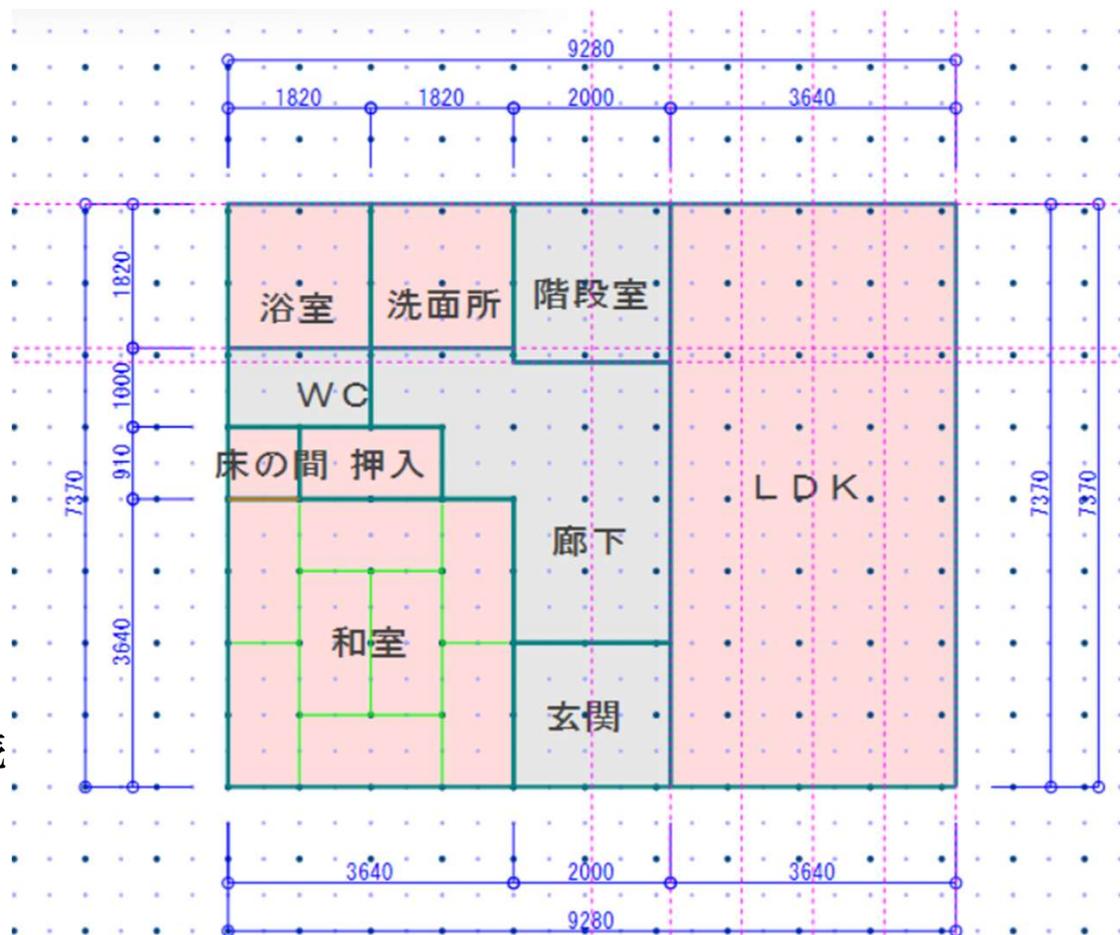
2-6 メニューの解説（間崩れ） 移動距離 指定点距離 補助線



玄関・廊下・階段
トイレ巾
が1000ピッチの
プランです。

右のLDK
の中に縦線が3本
入っています
その線は910ピッチ
です。

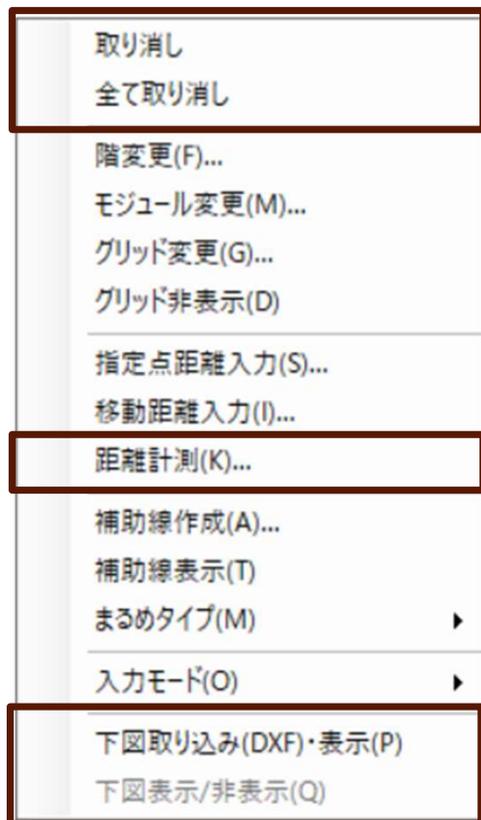
これは、補助線の
平行寸法指定を連続
入力したものです。



この様に補助線を用意する事で、
簡単にモジュール混在も簡単に
入力できます。

補助線は、保存（階別・全階）をしないと、別メニューに移ったタイミングで消えます

2-7 メニューの解説（右クリック・入力制御）



右クリックのメニューは、入力メニュー起動時しか表示されません。

メニュー内には、重複表示している機能が数多くありますが、ココでしか操作できないメニューもあります、左の枠内がココでしか入力できない機能です。



取り消しと全て取り消しは使用頻度が多いです、入力済みの対象を消す場合削除ですが、入力中の作業を消す場合は取り消しです、更に、多角点入力の1点目まで消す場合を、全て取り消しを使用します。

距離計測は、入力済の対象の距離を測る機能です 点間の距離・点線の距離・線線（平行）の距離などが計測できますが、主な使用法は補助線の距離を確認とかになるため、頻度としては左程ないかと思います。

下図取り込み（DXF）ですが、全く使わない人・そこそこ使う人と別れます。手順が多いため次ページで説明します。

2-8 メニューの解説（右クリック） 下図取り込み

下図取り込み(DXF)・表示(P)

【下図取り込み・表示】

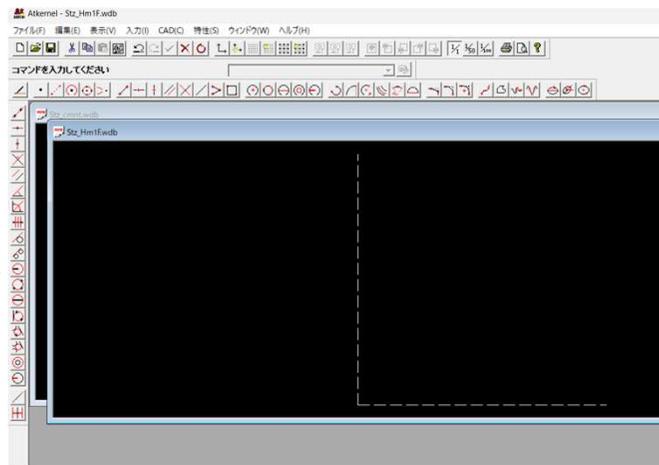
下図として表示する図面を指示してください

<input checked="" type="radio"/> 表示しない		
<input type="radio"/> 地階平面図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 1階平面図	下図取り込み	
<input type="radio"/> 2階平面図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 3階平面図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 1階屋根伏図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 2階屋根伏図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 3階屋根伏図	下図取り込み	削除
<input type="radio"/> 配置図	下図取り込み	削除

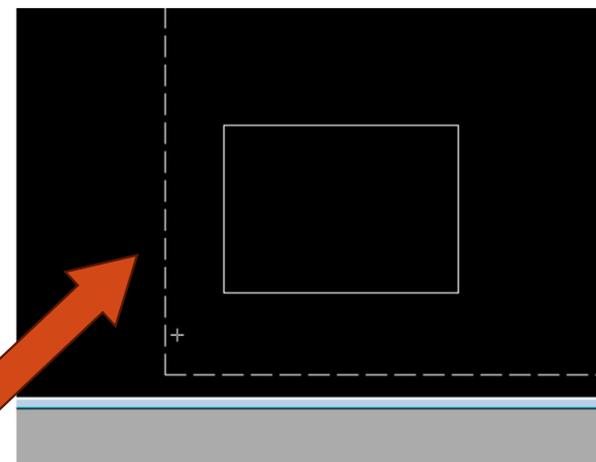
※青色の図面名: 下図図面あり

移動	表示倍率	実行
基準点取消	1.0 倍	取消
	1.0 倍	

終了(X)



ファイル内の追加ロードで、
ファイルの種類をDXFに変更し
読み込むデータの場所を選択し
対象ファイルを開く



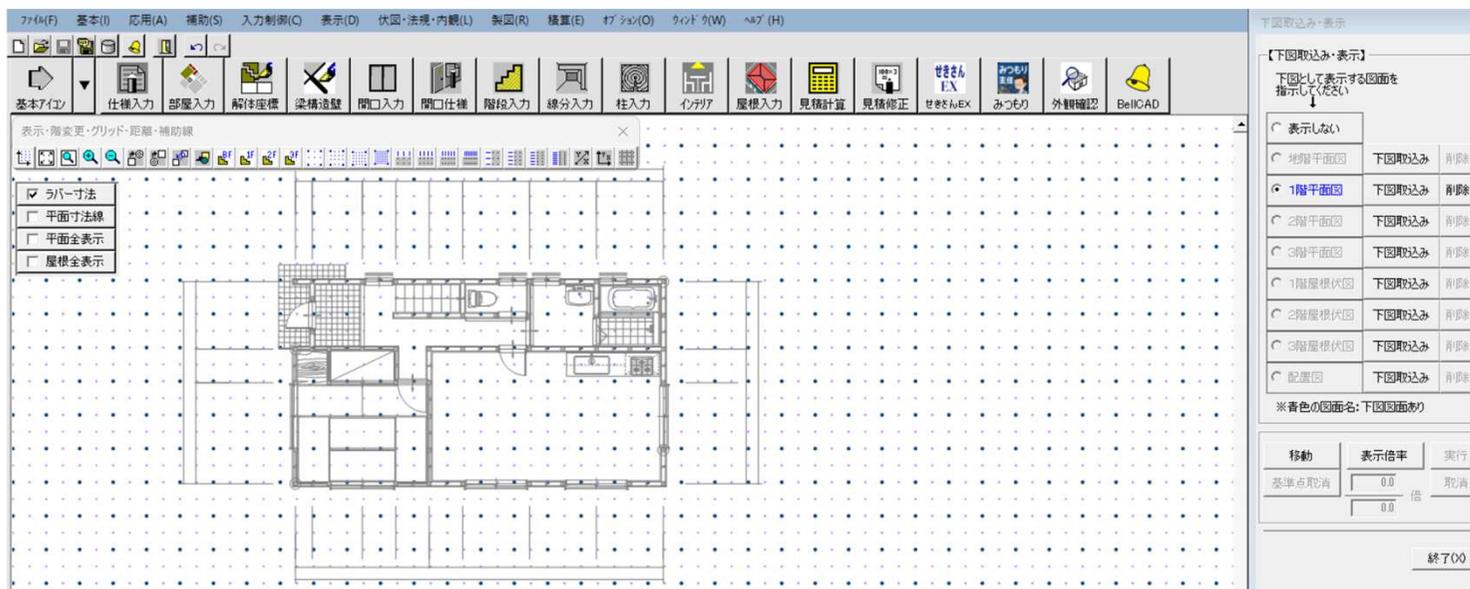
点線を目安に配置します
配置後上書き保存し
アプリケーション終了します

1番上はB1ですご注意ください



続きます

2-9 メニューの解説（右クリック）下図取り込み



青字の左を黒目にするると画面にDXFが表示されます。

このままでは、グリッドに乗っていないので、移動で再配置します、任意基準点を選びグリッドに乗せます。

非表示の設定は、青字表示の一番上の表示しないか、右クリックメニューの最下段の下図非表示で指示できます。

対象階が青表示であればデータありの状態です。

3 仕様入力

全体情報入力
既存及び敷地/解体情報入力
基礎・雑工事情報入力
開口部・内外部情報入力
屋根情報入力
設備情報入力
ドーマー屋根情報入力
壁率情報入力
終了

仕様入力は、モジュール（ベースグリッド）以外間取り入力後の入力が可能です、高さ情報等の数値はデフォルトとして入力されているため仕様入力を未入力の状態でも、入力は完結します。

部屋内のリフォームの場合、屋根情報や軒高等拾いには関係ないです。そのような関係ない情報は入力しても何もおきません、ただし、立面図を作成するのであれば、軒高は関係してきます、出力する印刷物に対してどの項目が必要なのか把握する必要があります。

リフォームでは難しいのですが、毎回同じ項目を同じ数値に変更している項目があれば、標準（デフォルト）を該当数値に変更しておくことで、該当項目の変更作業はなくなります、そのような変更もデフォルト登録で設定できます。

3-1 仕様入力 (全体情報入力)

全体情報入力

仕様入力 [RF]

全体情報(1) | 全体情報(2)

建物ランク: Aランク 外壁 塗り替え用
 Bランク 木造住宅リフォーム用
 Cランク マンションリフォーム用

工事名称:

建築場所:

担当者:

備考:

建物種別

タイプ: 和風 洋風

用途: 専用住宅 併用住宅 共同住宅

防火: 指定無し 準防火指定 防火指定 22条・23条

保存

取消

仕様入力 [RF]

全体情報(1) | 全体情報(2)

標準高さ

地下構造床高 (G. L -): mm

1階軒高 (G. L +): 3370 mm

2階軒高 (G. L +): 6100 mm

3階軒高 (G. L +): 8900 mm

地下標準床高 (構造床上 +): 0 mm

1階標準床高 (G. L +): 565 mm

2階標準床高 (1階軒高 +): 75 mm

3階標準床高 (2階軒高 +): 75 mm

スキップ高 (標準階との差±): 0 mm

モジュール長さ: 910.00 mm(入力範囲 500.00 ~ 9999.99)

保存

取消

 **要チェック** 間取り入力後のモジュール変更不可

3-2 仕様入力（既存及び敷地/解体情報入力）

既存及び敷地/解体情報入力

既存及び敷地情報/解体情報入力

【既存及び敷地情報】

1 建物種別 戸建(軸組内外装) マンション(内装)

2 工事中施主 住む 住まない

3 小運搬(本体工事時)

(敷地内)

小車小運搬 人力小運搬

場内搬入出路 長さ m

(敷地外)

小車小運搬 人力小運搬

場外搬入出路 長さ m

4 小運搬(解体時)

(敷地内)

小車小運搬 人力小運搬

場内搬入出路 長さ m

(敷地外)

小車小運搬 人力小運搬

場外搬入出路 長さ m

5 マンション

(1) 施工階数 階 ※複数階を施工する場合は、最上階を入力

(2) エレベーター 無 有

(3) 共有部分(エントランス・廊下)養生長さ m

【解体情報】

	(解体数量)	
(1)土間解体面積 厚 60	<input type="text" value="0.00"/>	m ²
(2)土間解体面積 厚 100	<input type="text" value="0.00"/>	m ²
(3)植栽撤去 太さ 100	<input type="text" value="0"/>	本
(4)植栽撤去 太さ 200	<input type="text" value="0"/>	本
(5)植栽撤去 太さ 300	<input type="text" value="0"/>	本
(6)木製階段解体	<input type="text" value="0"/>	ヶ所
(7)木製建具解体	<input type="text" value="0"/>	本
(8)畳処分	<input type="text" value="0.00"/>	帖
(9)ブロック塀解体面積	<input type="text" value="0.00"/>	m ²

3-3 仕様入力（基礎・雑工事情報入力）

基礎・雑工事情報入力

基礎・雑工事情報入力

基礎情報 | 雑工事情報

基礎タイプ: 布基礎 ベタ基礎

基礎見え掛り高さ: A mm

基礎立上がり高さ: B mm

基礎巾: C mm

フーチング巾: D mm

フーチング高: E mm

保存

取消

基礎パッキン有無: 無し 有り mm

防鼠ネット有無: 無し 有り

土台水切有無: 無し 有り

浴室腰立上がり有無: 無し 有り mm

床下防湿シート打有無: 無し 有り

床束種類: 木製束 鋼製束 プラ束

束石の施工有無:
(木製束の場合) 無し 有り

基礎・雑工事情報入力

基礎情報 | 雑工事情報

防壁工事有無: 無し 1階のみ 全階

保存

取消

断熱材施工

1階床下: 無し 有り

2階床下: 無し 有り

3階床下: 無し 有り

屋根下天井: 無し 有り

外壁(増築): 無し 有り

外壁(改築): 無し 有り



3-4 仕様入力 (開口部・内外部情報入力)

開口部・内外部情報入力

開口部・内外部情報入力

開口部・内部・外部情報 | 外壁仕上材選択 | 箱庇裏仕上材選択

サッシ

開口部サッシ色: シルバー ブロンズ ホワイト ブラック 色なし

サッシ記号表示: JS 尺HW 尺WH 統一8桁

戸袋

雨戸種類: 一般型 断熱型 防火型

戸袋高さ: サッシ上端 内法

玄関戸

模様: 無地 縦模様 横模様 木目均調

内部

規格建具使用有無: 無し 有り

規格造作材使用有無: 無し 有り

取納室中段/ネル有無: 無し 有り

開口部・内外部情報入力

開口部・内部・外部情報 | 外壁仕上材選択 | 箱庇裏仕上材選択

[既存外壁仕様]

既存施工なし(変更材除く) 張替・塗装 カー工法

既存外壁 | 変更材1 | 変更材2 | 変更材3 | 変更材4 | 変更材5

131 - 08 サイディング 16mm

明細枝番	仕様名
01	アクリルシン M
02	アクリルシン S
03	弾性アクリルシン M
04	弾性アクリルシン S
05	吹付けタイル M
06	吹付けタイル S
07	サイディング 14mm
08	サイディング 16mm
09	ガルバリウム鋼板
10	杉板 張り
11	漆喰塗り
12	珪藻土塗り 珪藻土塗り
13	珪藻土塗り ローラー塗り
14	弾性塗膜(ワンシール)
15	未設定(オプション)
15	★★★★外壁塗替用 仕上材★★★★

下地1 | 132-06 | 通気胴縁 施工

下地2 | 132-08 | 防水シート 貼り

下地3 | | |

下地変更

外装断熱材選択 | 435 - |

下地処理選択 | 157 - |

開口部・内外部情報入力

開口部・内部・外部情報 | 外壁仕上材選択 | 箱庇裏仕上材選択

[箱庇裏仕上材]

137 - 08 AEP仕上

明細枝番	仕様名
01	アクリルシン
02	弾性アクリルシン
03	吹付けタイル(吹出し)
04	吹付けタイル(吹込み)
05	珪藻土塗り
06	軒天用化粧板 杉板
07	軒天ビードリング
08	AEP仕上

下地1 | 138-02 | 構造用合板 910×1820×12mm

下地2 | 138-06 | クイカル板 910×1820×6mm

下地3 | | |

下地変更

★ 要チェック

3-5 仕様入力（屋根情報入力）

屋根情報入力

屋根情報入力 [RF]

屋根 No	軒裏方式 破風板表現	屋根仕上材	作画情報 (模様)	勾配 (n/100)	軒の出 (mm)	垂木間隔(mm)	単価割増率 (%)	
#01	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#02	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#03	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#04	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#05	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#06	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#07	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#08	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#09	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報
#10	化粧合板 垂直	釉薬瓦 和型	瓦	40	750	910.00 / 2	0	改築情報

↑ BOX内クリックで仕様選択画面が表示されます

↑ BOX内クリックで作画選択画面が表示されます

保存(S)

取消(C)

3-6 仕様入力（設備情報入力）

設備情報入力

設備情報入力

浄化槽の有無: 無し 有り

屋外給水工事一式金額: 円

屋外排水工事一式金額: 円

雨水排水工事一式金額: 円

照明器具一式金額: 円

保存(S)

取消(C)

(注)照明器具一式金額を入力した場合、
部屋電気設備の拾いとは別に明細No:328-01で一式拾いされます。

3-8 仕様入力 (壁率情報入力)

壁率情報入力

壁率情報入力 [RF]

風圧力に対する所要壁率:

地震力に対する所要壁率

	瓦	その他
平家建		
2階建	2階 	2階 
	1階 	1階 
3階建	3階 	3階 
	2階 	2階 
	1階 	1階 

保存(S)

取消(C)

4 部屋入力

大きい点の間が仕様入力の全体情報2で指示をした寸法で表示されます (910)



表示・階変更・グリッド・距離・補助線

ラバー寸法
平面寸法線
平面全表示
屋根全表示

左クリック
削除
フェースクリア
実行
取消

入力&座標の決定
入力完成した対象を消す
対象の全削除
指定作業の決定
メニューからの脱出

部屋入力

間仕切入力
部屋区分変更
重複領域表示

【部屋区分】
 既存
 改築
 増築
 増築内の既存

(入力方法)
 先勝ち: 既存間仕切に切り取られる
 後勝ち: 既存間仕切を切り取る
 重複入力を許す
 間仕切合成

部屋名入力
部屋改築情報
畳変更
壁形状変更
高さ変更
仕上変更
補助部屋名入力
畳数・面積入力
天井面入力
間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間合わせ
 間仕切寸法表示

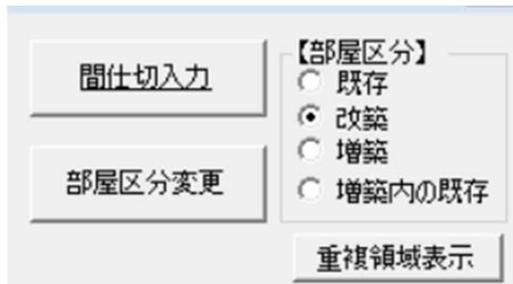
外観確認 削除 フェースクリア
実行 取消 終了(X)

1階 | 910.00, 910.00 | 自動 | G+補 | GOff | 補Off

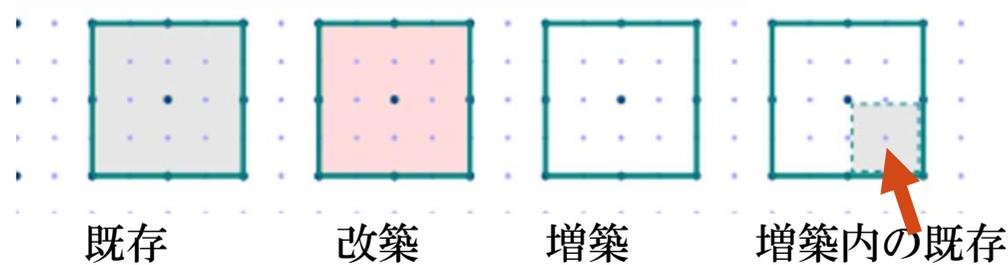
部屋間仕切を入力して下さい

入力作業中のキャンセルは、右クリックの取り消しor全て取り消しです

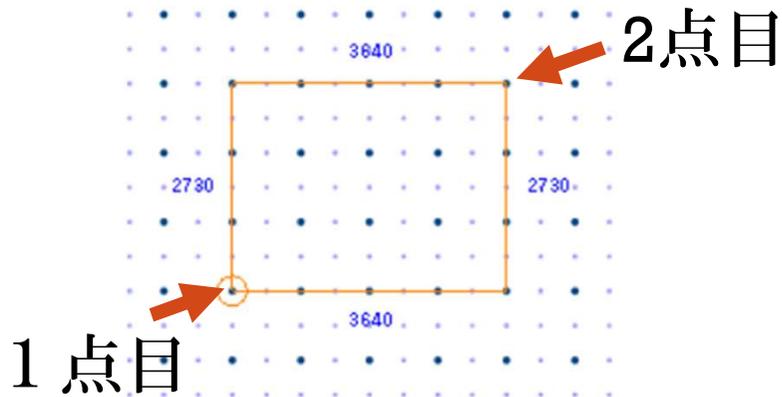
4-1 部屋入力 (間仕切入力)



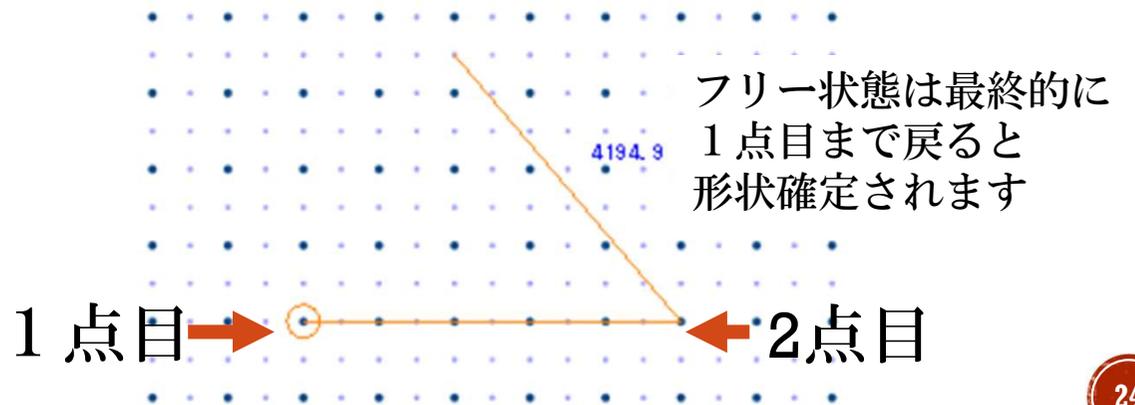
間仕切り入力で間取りを作成します
 間取りには、既存・改築・増築・増築内の既存の種類があります



正方形・長方形の間取りは
 2点クリックで入力が入力されます



2点目を縦・横の同一ライン上でクリック
 すると、3点目以降フリーとなります



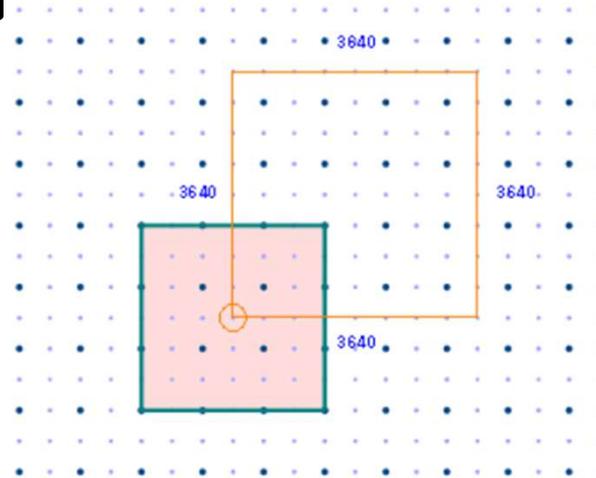
4-2 部屋入力（間仕切入力）



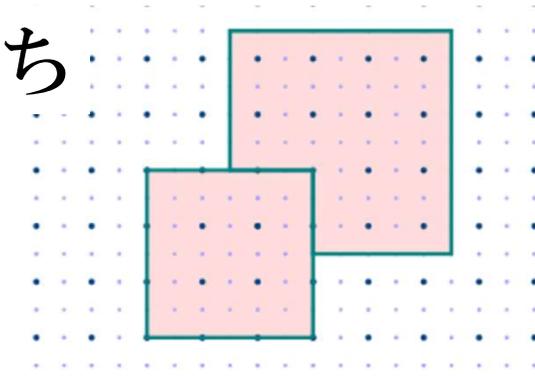
入力方法は使い分ける事で非常に便利になります

先勝ち=入力済の間取りが優先されます
後勝ち=入力した間取りが優先されます

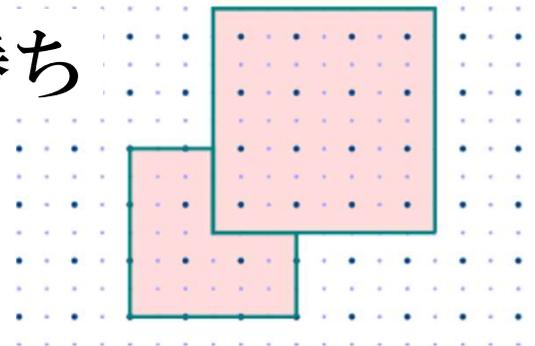
例



先勝ち



後勝ち



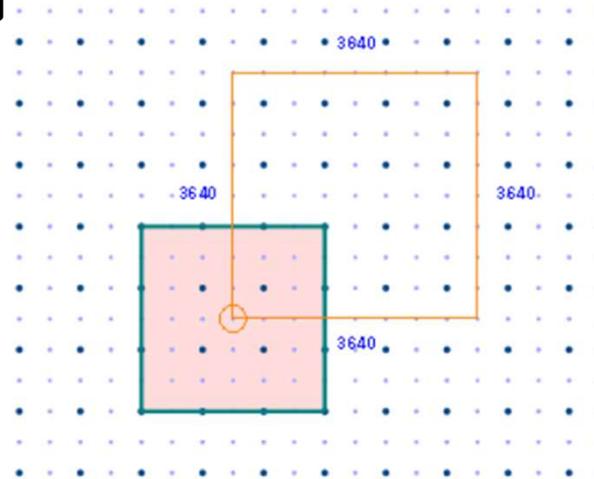
4-3 部屋入力（間仕切入力）

入力方法は使い分ける事で非常に便利になります

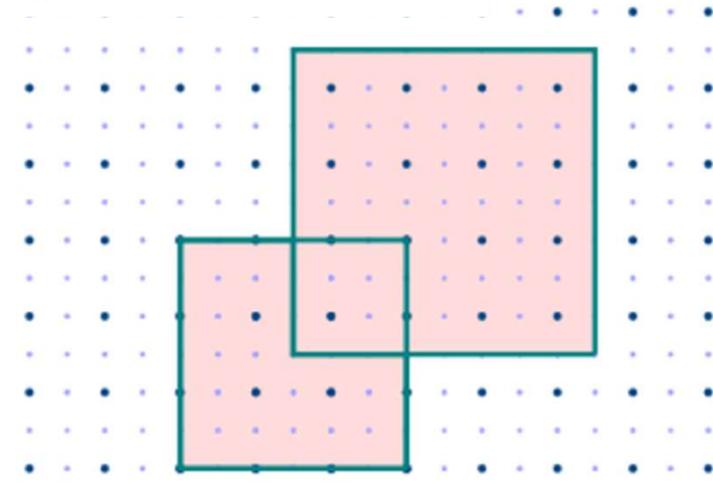
重複入力を許す = 重ねて入力します（特殊ケース）



例



重複入力を許す



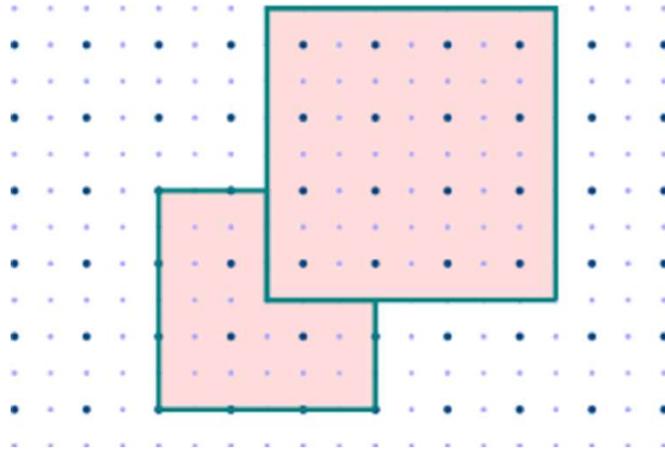
4-4 部屋入力（間仕切入力）

入力方法は使い分ける事で非常に便利になります

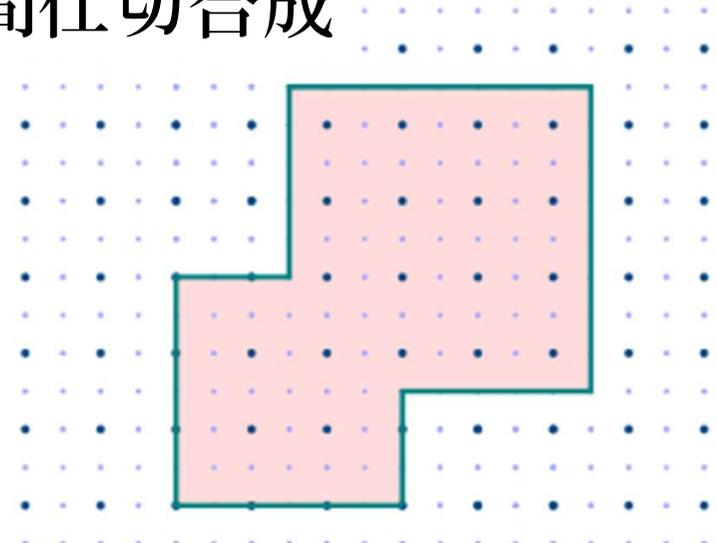
間仕切り合成＝接している間取りを1部屋にします



例



間仕切合成

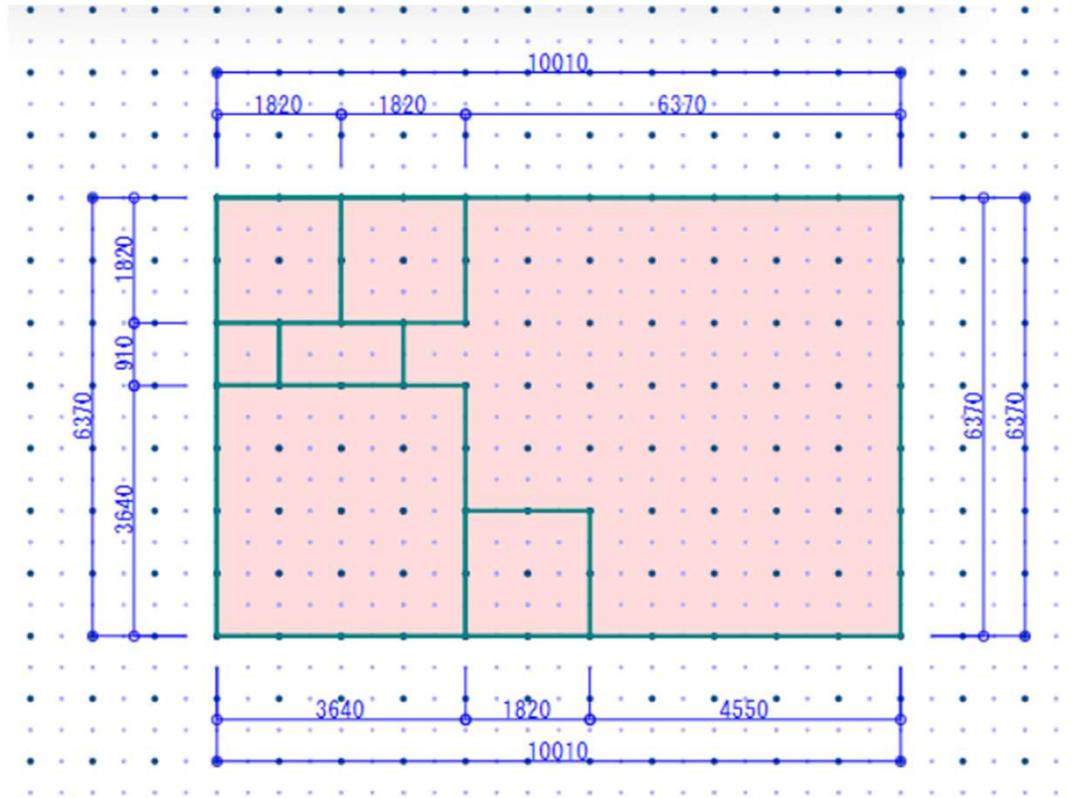


4-5 部屋入力（間仕切入力）後勝ち入力例

入力方法は使い分ける事で非常に便利になります

★ 要チェック

- ラバー寸法
- 平面寸法線
- 平面全表示
- 屋根全表示



後勝ちが便利な状況 外壁線を最初に入力し寸法の分かりやすい所から入力

4-6 部屋入力（間仕切入力）先勝ち入力例

入力方法は使い分ける事で非常に便利になります

★ 要チェック



先勝ちが便利な状況

上記灰色の玄関ポーチを入力する場合

先勝ちなら2点入力で完了しますが、

端点ごとの入力の多角形入力なら

7点クリックが必要です

4-7 部屋入力（部屋名入力）



部屋入力

間仕切入力

【部屋区分】

- 既存
- 改築
- 増築
- 増築内の既存

部屋区分変更

重複領域表示

(入力方法)

- 先勝ち: 既存間仕切に切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切を切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更 壁形状変更

高さ変更 仕上変更

補助部屋名入力 畳数・面積入力

天井面入力

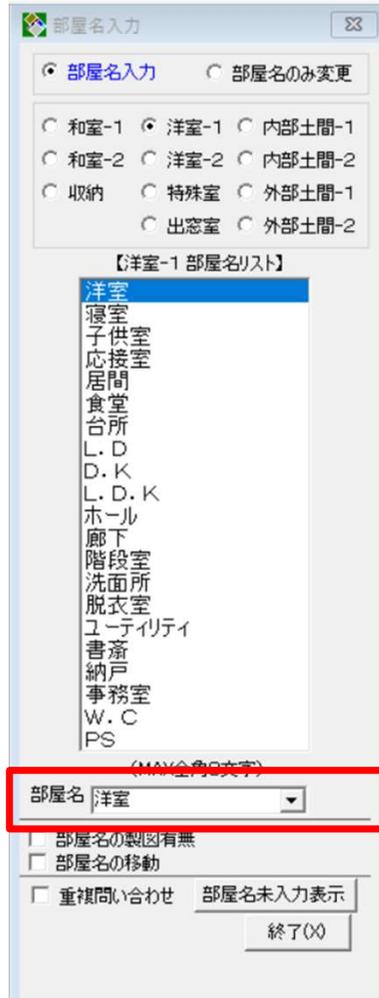
間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースウェア

実行 取消 終了(X)



部屋名入力

部屋名入力 部屋名のみ変更

- 和室-1
- 洋室-1
- 内部土間-1
- 和室-2
- 洋室-2
- 内部土間-2
- 収納
- 特殊室
- 外部土間-1
- 出窓室
- 外部土間-2

【洋室-1 部屋名リスト】

- 洋室
- 寝室
- 子供室
- 応接室
- 居間
- 食堂
- 台所
- L. D
- D. K
- L. D. K
- ホール
- 廊下
- 階段室
- 洗面所
- 脱衣室
- ユーティリティ
- 書斎
- 納戸
- 事務室
- W. C
- PS

(MAX)全角9文字

部屋名 洋室

部屋名の製図有無

部屋名の移動

重複間い合わせ 部屋名未入力表示

終了(X)

部屋名の入力には上記グループから入力対象を選択し該当部屋内をクリックし入力します、
 （クリック位置が平面図の印字位置となります）
 間仕切りには全て部屋名称が必要です
 （既存の部屋にも名称が必要です）

グループは

和室1-2 洋室1-2 内部土間1-2 外部土間1-2

収納 特殊室 出窓室 となります

部屋グループの2はユーティリティから名称登録が可能です
 頻度の多い名称は登録してもいいのですが、
 ユーティリティからの登録ではなく既存の名称の下に
 ぶら下げるイメージで名称の追加登録ができます

赤□の名称にカーソルを合わせ入力することで登録します。
 初期セットされる仕上は元部屋名と同様の仕上となります。
 登録された名称は、削除しない限り残ります。

★部屋名が全て埋まらないと終了できません

4-8 部屋入力（部屋改築情報）



部屋入力

【部屋区分】

既存

改築

増築

増築内の既存

重複領域表示

(入力方法)

先勝ち: 既存間仕切に切り取られる

後勝ち: 既存間仕切を切り取る

重複入力を許す

間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更 壁形状変更

高さ変更 仕上変更

補助部屋名入力 畳数・面積入力

天井面入力

間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースクリア

実行 取消 終了(O)

部屋改築情報入力

個別入力 連続入力

	解体	復旧
天井	<input type="checkbox"/> 貼物 <input checked="" type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input checked="" type="checkbox"/> 下地 <input checked="" type="checkbox"/> 廻縁
	<input type="checkbox"/> 野縁	<input type="checkbox"/> 野縁
	クリア	クリア
壁	<input type="checkbox"/> 貼物 <input checked="" type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input checked="" type="checkbox"/> 下地 <input checked="" type="checkbox"/> 巾木・畳寄 <input type="checkbox"/> 長押 <input type="checkbox"/> 笠木 <input type="checkbox"/> 無目
	<input type="checkbox"/> 胴縁	<input type="checkbox"/> 胴縁 <input type="checkbox"/> 間柱
	クリア	クリア
床	<input type="checkbox"/> 貼物 <input checked="" type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input checked="" type="checkbox"/> 下地 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> 上框 <input type="checkbox"/> 付框
	<input type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束	<input type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束
	クリア	クリア

改築情報複写

構造材項目非表示 終了(O)

部屋改築情報は、積算に直結する重要な入力です
青字になっている項目（チェック付）が工事内容です
上から天井・壁・床 左が解体項目 右が施工項目です

このメニューを各部屋で入力することで、部屋ごと部位ごとの詳細の積算ができます

入力方法は基本的に該当部屋をクリックし赤くした状態で個別に指示をしていきますが、
同じ内容を連続入力する機能（復旧の上の連続入力）や指示した内容を、改築情報複写（床の復旧列のクリア下）を使う事で、チェック回数を減らすことができます

4-9 部屋入力（部屋改築情報）



●トイレの床を事例として説明します

例1 現状CF張りで、CFのみはがして、CFのみ施工します

床	<input checked="" type="checkbox"/> 貼物 <input type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input type="checkbox"/> 下地 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> 上框 <input type="checkbox"/> 付框
---	--	--

例2 現状フローリングで、フローリングのみをはがしてフローリングのみを施工します

床	<input type="checkbox"/> 貼物 <input checked="" type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input type="checkbox"/> 下地 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> 上框 <input type="checkbox"/> 付框
---	--	--

例3 現状タイル、タイルはがして、根太から上を施工

床	<input type="checkbox"/> 貼物 <input type="checkbox"/> 板材 <input checked="" type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input checked="" type="checkbox"/> 下地 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> 上框 <input type="checkbox"/> 付框
	<input checked="" type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束	<input checked="" type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束

例4 現状タイル張りで、廊下と段差があります段差を無くします

床	<input type="checkbox"/> 貼物 <input type="checkbox"/> 板材 <input type="checkbox"/> 左官	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上 <input checked="" type="checkbox"/> 下地 <input type="checkbox"/> 土間コン <input type="checkbox"/> 上框 <input type="checkbox"/> 付框
	<input type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束	<input checked="" type="checkbox"/> 根太 <input type="checkbox"/> 大引 <input type="checkbox"/> 束

4-10 部屋入力（畳変更・高さ変更）



部屋入力

間仕切入力

部屋区分変更

【部屋区分】

- 既存
- 改築
- 増築
- 増築内の既存

重複領域表示

(入力方法)

- 先勝ち: 既存間仕切に切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切を切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更

壁形状変更

高さ変更

仕上変更

補助部屋名入力

畳数・面積入力

天井面入力

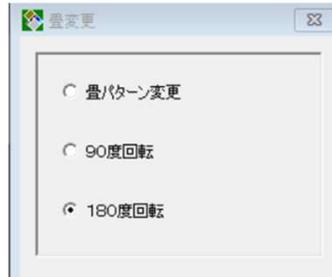
間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

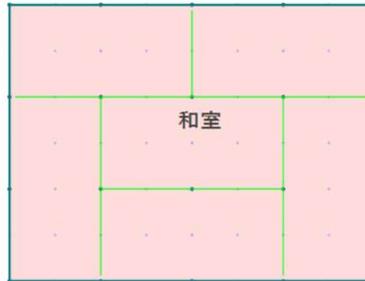
外観確認 削除 フェースウェア

実行 取消 終了(X)



畳変更

- 畳パターン変更
- 90度回転
- 180度回転



畳変更とは、和室に自動でセットされる、畳を回転させるメニューです。琉球畳などの変更は応用入力の床模様の登録模様で変更します（図面のみ）拾いは、別操作です。



高さ変更

床高さ

天井高さ

内法高さ

補助高さ

高さ変更は、各部屋の高さを変更する時に使用します

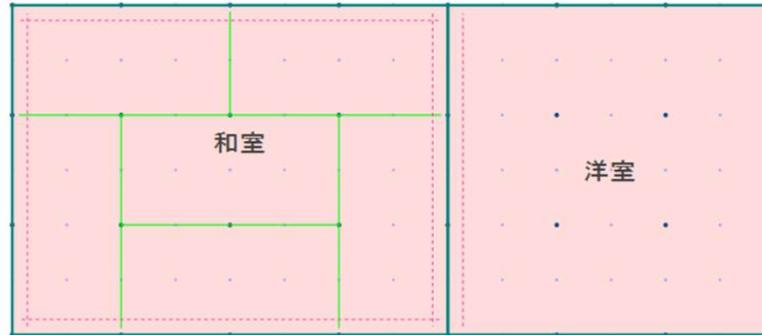
床高さ 標準床高からの+-数値で入力します
 天井高さ 床高さからの天井までの距離です
 内法高さ 床高さから内法高さまでの距離です
 補助高さ 床の間の垂れ壁の下端などのケースに使用します
 （床高さからの距離） 全てmmで入力します。

4-11 部屋入力 壁形状変更



壁形状変更

壁形状変更は、真壁・大壁の変更です、これは部屋名称と連動してる話ですが和室-1・和室-2の部屋名称を入力した場合は、自動で真壁判定されています。それ以外の部屋名称の場合は大壁判定です。それを逆転させるのが壁形状変更です。変更部位は点線で表示されます。入力方法は部屋を選択し実行した場合全体、部屋選択後、壁線上を指示した場合、一面の指示となります。



和室（初期真壁）を全体変更しているのので全て大壁です

洋室（初期大壁）を西側の壁だけ指示しているのので西側のみ真壁、それ以外3方大壁となります

4-12 部屋入力 仕上変更



部屋入力

間仕切入力

部屋区分変更

重複領域表示

入力方法

- 先勝ち: 既存間仕切に切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切に切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更

壁形状変更

高さ変更

仕上変更

補助部屋名入力

畳数・面積入力

天井面入力

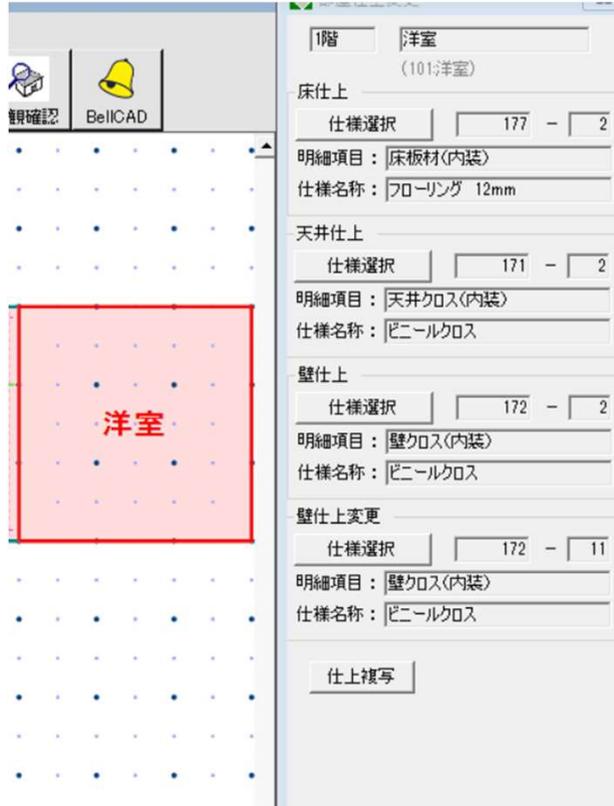
間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースウェア

実行 取消 終了(X)



1階 洋室 (101:洋室)

床仕上

仕様選択 177 - 2

明細項目: 床板材(内装)

仕様名称: フローリング 12mm

天井仕上

仕様選択 171 - 2

明細項目: 天井クロス(内装)

仕様名称: ビニールクロス

壁仕上

仕様選択 172 - 2

明細項目: 壁クロス(内装)

仕様名称: ビニールクロス

壁仕上変更

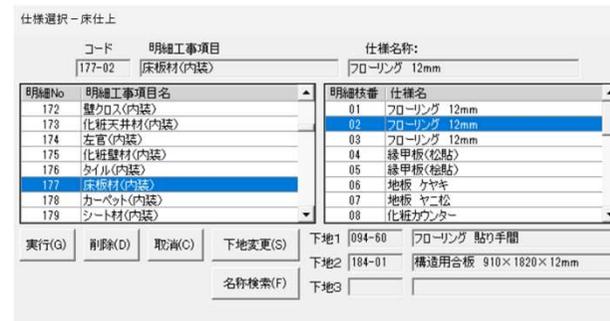
仕様選択 172 - 11

明細項目: 壁クロス(内装)

仕様名称: ビニールクロス

仕上複写

仕上変更は 対象部屋をクリックすると 部屋線・名称が赤くなり、初期設定されている仕上が表示されます。仕様選択で仕上材を変更します。



仕様選択 - 床仕上

コード	明細工事項目	仕様名称:
177-02	床板材(内装)	フローリング 12mm

明細No	明細工事項目名	明細仕様	仕様名
172	壁クロス(内装)	01	フローリング 12mm
173	化粧天井材(内装)	02	フローリング 12mm
174	左官(内装)	03	フローリング 12mm
175	化粧壁材(内装)	04	緑甲板(粘貼)
176	タイル(内装)	05	緑甲板(粘貼)
177	床板材(内装)	06	地板 ケヤキ
178	カーペット(内装)	07	地板 ヤニ松
179	シート材(内装)	08	化粧カウター

実行(G) 削除(D) 取消(C) 下地変更(S) 下地1 094-60 フローリング 貼り手間

下地2 184-01 構造用合板 910×1820×12mm

下地3

名称検索(F)

メニュー内では下地の変更もできます

壁仕上変更はココでは材のセットのみです 変更部位の入力は、線分入力の壁仕上変更で指示をします。

4-13 部屋入力 補助部屋名入力



部屋入力

間仕切入力

部屋区分変更

重複領域表示

(入力方法)

先勝ち: 既存間仕切に切り取られる

後勝ち: 既存間仕切を切り取る

重複入力を許す

間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更

壁形状変更

高さ変更

仕上変更

補助部屋名入力

畳数・面積入力

天井面入力

間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認

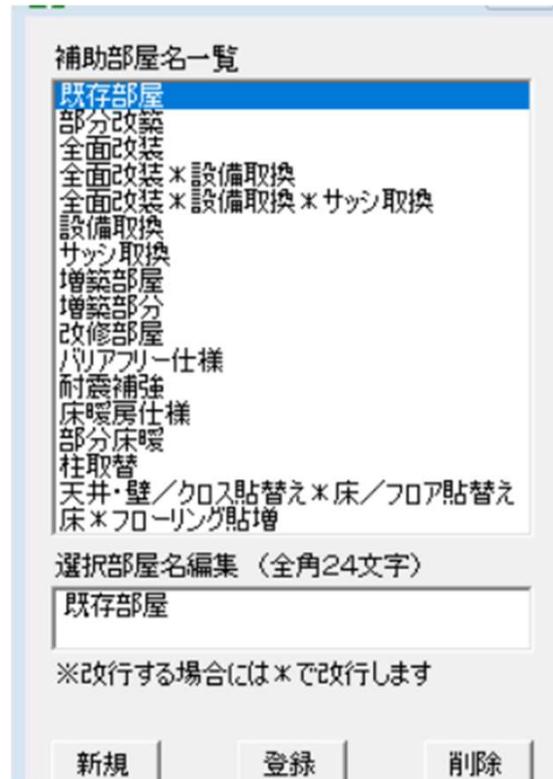
削除

フェースツア

実行

取消

終了(X)



補助部屋名一覧

既存部屋

部分改築

全面改築

全面改築*設備取換

全面改築*設備取換*サッシ取換

設備取換

サッシ取換

増築部屋

増築部分

改修部屋

バリアフリー仕様

耐震補強

床暖房仕様

部分床暖

柱取替

天井・壁/クロス貼替え*床/フロア貼替え

床*フローリング貼増

選択部屋名編集 (全角24文字)

既存部屋

※改行する場合には*で改行します

新規

登録

削除

補助部屋名入力は、各部屋に1名称（文章）任意を入力できます。

対象部屋を指示して、印字位置を決定します。これは、平面図に印字するだけの機能です。

*各部屋1個ですが、印字位置は任意ですので別部屋内にセットすることも可能です。



4-14 部屋入力 畳数・面積入力



部屋入力

間仕切り入力

部屋区分変更

【部屋区分】

- 既存
- 改築
- 増築
- 増築内の既存

重複領域表示

(入力方法)

- 先勝ち: 既存間仕切りに切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切りを切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更 壁形状変更

高さ変更 仕上変更

補助部屋名入力 **畳数・面積入力**

天井面入力

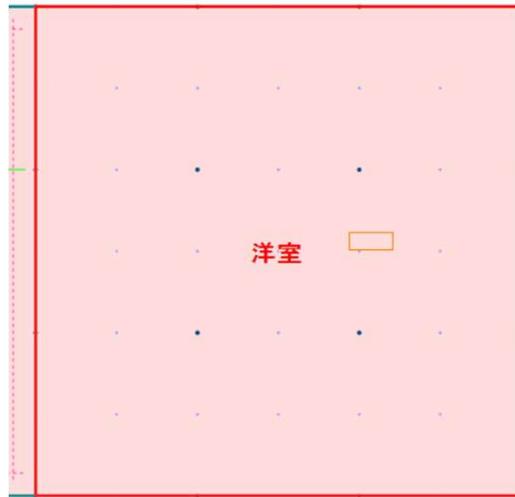
間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースウェア

実行 取消 終了(X)




畳数・面積入力

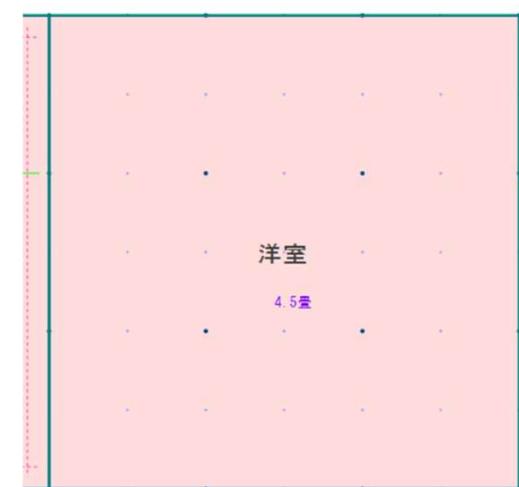
畳(帖)数

4.5 畳

面積

7.45 m²

括弧を付ける



対象部屋をクリックすると、赤い状態で 畳数・面積が計算されます
再度クリックすると印字位置が決定されます。

4-15 部屋入力 天井面入力

部屋入力

間仕切入力

部屋区分変更

【部屋区分】

- 既存
- 改築
- 増築
- 増築内の既存

重複領域表示

(入力方法)

- 先勝ち: 既存間仕切に切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切を切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更 壁形状変更

高さ変更 仕上変更

補助部屋名入力 畳数・面積入力

天井面入力

間仕切直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースウェア

実行 取消 終了(X)

面入力

指定点作成

天井面勾配・高さ

- 水平
- 上り
- 下り

高さ: 2400 mm

勾配: 20 / 100

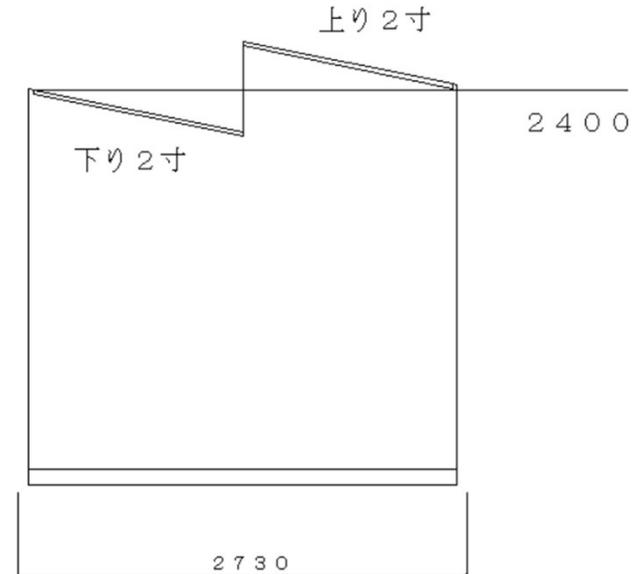
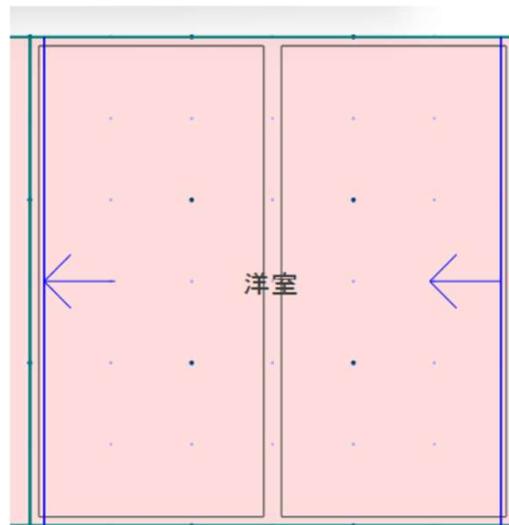
天井面入力は、天井面形状を入力するとグレーだった数値などが解放されます
 下図洋室の右半分は東壁を2400高としそこから2寸で上る入力です
 左半分は西壁を2400基準とし2寸で下る入力です

天井面勾配・高さ

- 水平
- 上り
- 下り

高さ: 2400 mm

勾配: 20 / 100



4-16 部屋入力 間仕切り直下率計算

間仕切り直下率計算は、入力メニューではありません
 入力された間仕切りの上下階のノリを数値化してくれる
 確認メニューです。



部屋入力

間仕切り入力

部屋区分変更

【部屋区分】

- 既存
- 改築
- 増築
- 増築内の既存

重複領域表示

(入力方法)

- 先勝ち: 既存間仕切りに切り取られる
- 後勝ち: 既存間仕切を切り取る
- 重複入力を許す
- 間仕切合成

部屋名入力

部屋改築情報

畳変更 壁形状変更

高さ変更 仕上変更

補助部屋名入力 畳数・面積入力

天井面入力

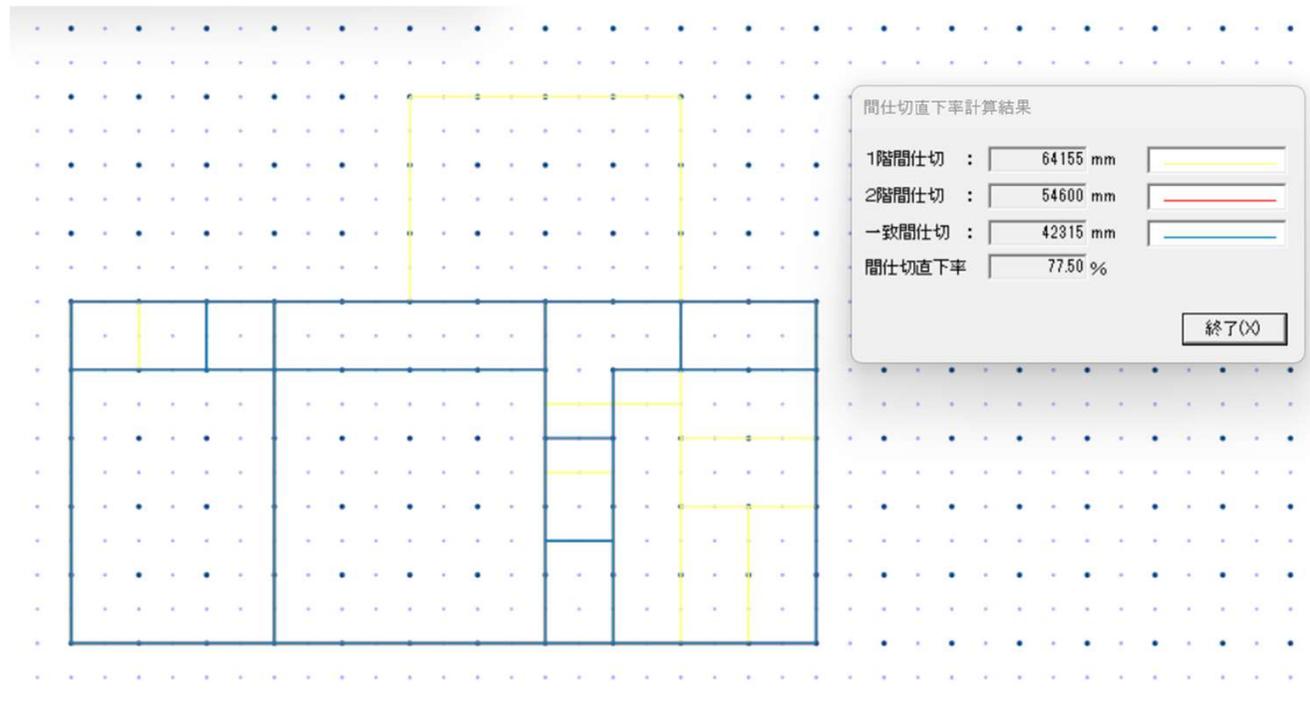
間仕切り直下率計算

地階間仕切表示 重複間い合わせ

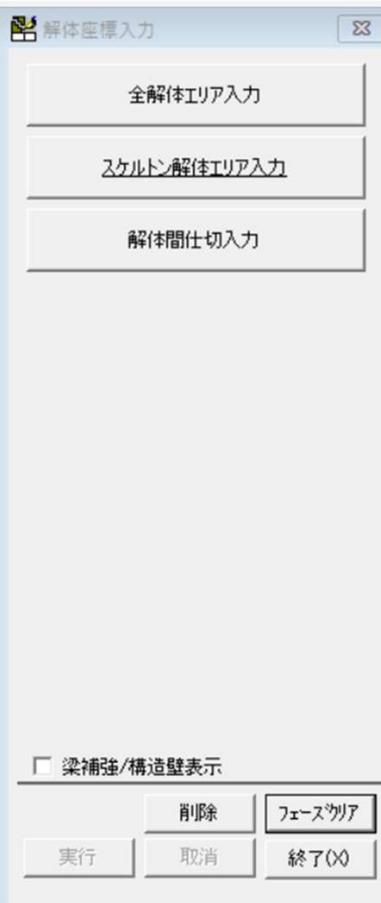
間仕切寸法表示

外観確認 削除 フェースツリア

実行 取消 終了(X)

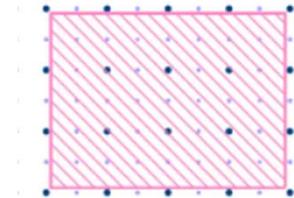


5 解体座標

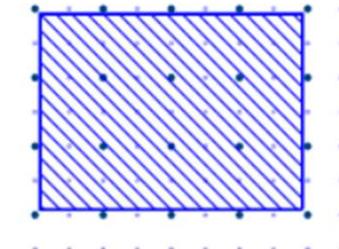


解体座標は、部屋改築情報とは別に解体費用を拾います

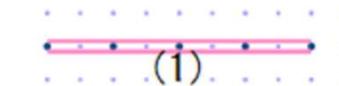
全解体エリア入力=全撤去です 基礎から屋根まで解体します



スケルトン解体エリア入力= 躯体残しです、全解体より安く拾います

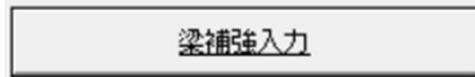
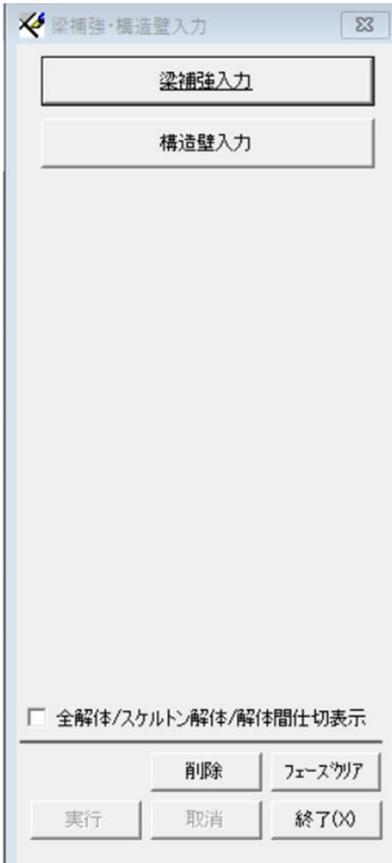


解体間仕切入力=解体した壁を入力します、費用分けのためバリエーションあり

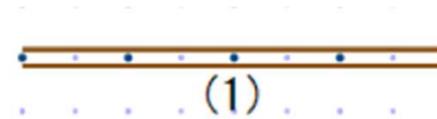
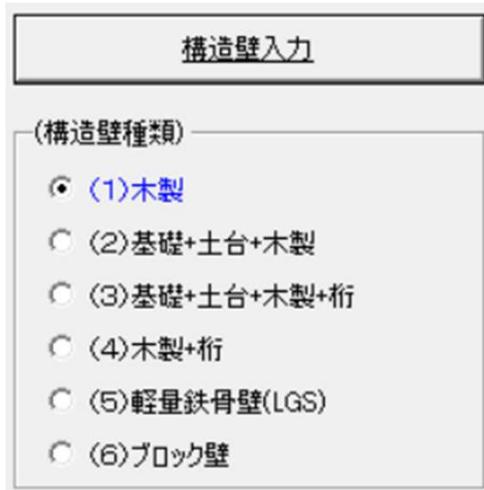


*全てどこにでも入力できます

6 梁構造壁



梁補強入力は、どこにでも入力できます始点終点の2点入力です表示は梁のような形状で表示されますが、梁高などの指定はなく補強梁〇〇mという拾いになります。



構造壁入力は、間仕切り線上の入力となります
 入力としては、改築間取り内で新しい壁を入力します
 (増築の間取りは入力不要です)
 (1)の木製は間柱を拾います
 施工内容に合わせて1~6にチェックし入力します



7 開口入力・開口仕様

開口座標入力

建具種類: 窓サッシ 参...

開口形式: 引違い-2 参...

サッシ記号: 統一5桁

サッシNo: 07411 参...

入力方法
 2点入力 区間中央 壁中央(1点)
 3点入力 片側固定 開口中点(1点)

(本体): 新規 取替 既存

(建具種類)

(開口形式)

上端:

下端:

欄間・袖: なし

FDタイプ: なし

窓手摺: なし

雨戸: なし

窓格子: なし

シャッター: なし

花台: なし

モール: なし

枠: 四方枠無

造作封い

壁付指示 | 吊元変更 | 方向点変更

開口移動 | 連窓区間 | 連続修正

サッシNo表示 建具種類表示

外観確認 | 建具種類決定条件

情報修正 | 削除 | フェースツア

実行 | 取消 | 終了

開口入力では、サッシ・玄関ドア・木製建具等を入力します
各建具に対して、新設・取替・既存の区分があります

外部建具入力手順 建具種類参照→サッシ等選択→サッシNO参照→WH選択 確定
入力方法選択 (お勧め1) 開口中点1点指示 (お勧め2) 片側固定2点指示

増築間取り上の建具は、自動判定 新設となりますが、既存間仕切り・改築間仕切りは
既存となります、入力直後の建具は赤く表示されます、赤い状態は未確定状態なので
既存と判断された建具を取替に変わるなど様々な情報を入力できます、
次の作業に移ったタイミングで、青く確定状態となります。モチロン確定後も
下部メニューの情報修正で、選択すると赤の未確定状態にできます。

内部木製建具入力手順 建具種類参照→(自動決定戸/ドア)→入力方法選択
内部のお勧めは2点入力 お勧めの理由は開き戸等方向を指示する入力があるため
外部と同様に、赤い状態で取替等の指示をします。

入力をご覧ください お試し可能な方は試しに入力してください。

開口入力は1部屋2個は大抵ありますので、ココを慣
れると入力は随分早くなります。



7-1 開口入力・開口仕様

開口仕様では、開口入力では入力できない部品等の情報を入力します。部品は、新設・取替等指示しながら入力できます。

対象建具線ををクリックすることで、入力可能ヶ所が青くチェックが入ります

開口仕様入力

個別入力 連続入力

積算する 積算しない

新設 取替 既存

仕様選択1 | 仕様選択2 | 仕様選択3

新替

建具本体	<input type="checkbox"/>	選択	
ガラス	<input type="checkbox"/>	選択	
雨戸	<input type="checkbox"/>	選択	
戸箱鏡板	<input type="checkbox"/>	選択	
窓手摺	<input type="checkbox"/>	選択	
面格子	<input type="checkbox"/>	選択	
花台	<input type="checkbox"/>	選択	
シャッター付	<input type="checkbox"/>	選択	
開口モール	<input type="checkbox"/>	選択	
障子本体	<input type="checkbox"/>	選択	
建具金物	<input type="checkbox"/>	選択	
規格枠	<input type="checkbox"/>	選択	

↑水色の項目の入力が有効です

[明細項目名]/[仕様名称] 仕様削除

内部塗装工事

建具塗装

建具本体捨出し方法

建具種類:

※木製建具・シャッターの場合、捨出し方法の変更ができます

1. 数量算出方法

2. 単価算出方法

3. 単価枚数換算

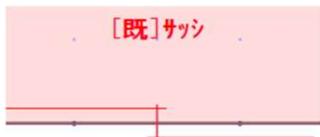
サッシNo表示 該当数: 1

建具種類表示

仕様複写 フェースツア 終了(X)

※ ⊙が付いている開口部: 仕様指示あり

※ ×が付いている開口部: 積算しない



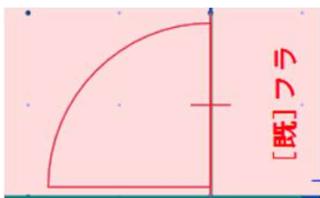
サッシの場合

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
建具本体	<input type="checkbox"/>	選択 203
ガラス	<input type="checkbox"/>	選択 253
雨戸	<input type="checkbox"/>	選択 235
戸箱鏡板	<input type="checkbox"/>	選択 239
窓手摺	<input type="checkbox"/>	選択 286
面格子	<input type="checkbox"/>	選択 287
花台	<input type="checkbox"/>	選択 288
シャッター付	<input type="checkbox"/>	選択 252
開口モール	<input type="checkbox"/>	選択 156
障子本体	<input type="checkbox"/>	選択 246
建具金物	<input type="checkbox"/>	選択 251
規格枠	<input type="checkbox"/>	選択 74

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
網戸	<input type="checkbox"/>	選択 299
網のみ	<input type="checkbox"/>	選択 300
換気権	<input type="checkbox"/>	選択 273
障子紙貼	<input type="checkbox"/>	選択 282
障子紙貼替	<input type="checkbox"/>	選択 301
換紙	<input type="checkbox"/>	選択 302
塗装	<input type="checkbox"/>	選択 261
灰汁洗い	<input type="checkbox"/>	選択 303
外壁補修費	<input type="checkbox"/>	選択 507
断熱内窓	<input type="checkbox"/>	選択 556
カバー工法	<input type="checkbox"/>	選択 578
アタッチメントガラス	<input type="checkbox"/>	選択 603

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
コーキング	<input type="checkbox"/>	選択 291
サッシ取付	<input type="checkbox"/>	選択 255
サッシ組立調整	<input type="checkbox"/>	選択 256
サッシ取立手摺	<input type="checkbox"/>	選択 257
(木)建具取付	<input type="checkbox"/>	選択 258
(木)取外手摺	<input type="checkbox"/>	選択 259
(木)処分費	<input type="checkbox"/>	選択 260
建具建付調整	<input type="checkbox"/>	選択 305

↑水色の項目の入力が有効です



フラッシュ戸の場合

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
建具本体	<input type="checkbox"/>	選択 240
ガラス	<input type="checkbox"/>	選択 253
雨戸	<input type="checkbox"/>	選択 235
戸箱鏡板	<input type="checkbox"/>	選択 239
窓手摺	<input type="checkbox"/>	選択 286
面格子	<input type="checkbox"/>	選択 287
花台	<input type="checkbox"/>	選択 288
シャッター付	<input type="checkbox"/>	選択 252
開口モール	<input type="checkbox"/>	選択 156
障子本体	<input type="checkbox"/>	選択 246
建具金物	<input type="checkbox"/>	選択 251
規格枠	<input type="checkbox"/>	選択 74

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
網戸	<input type="checkbox"/>	選択 299
網のみ	<input type="checkbox"/>	選択 300
換気権	<input type="checkbox"/>	選択 273
障子紙貼	<input type="checkbox"/>	選択 282
障子紙貼替	<input type="checkbox"/>	選択 301
換紙	<input type="checkbox"/>	選択 302
塗装	<input type="checkbox"/>	選択 261
灰汁洗い	<input type="checkbox"/>	選択 303
外壁補修費	<input type="checkbox"/>	選択 507
断熱内窓	<input type="checkbox"/>	選択 556
カバー工法	<input type="checkbox"/>	選択 578
アタッチメントガラス	<input type="checkbox"/>	選択 603

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
コーキング	<input type="checkbox"/>	選択 291
サッシ取付	<input type="checkbox"/>	選択 255
サッシ組立調整	<input type="checkbox"/>	選択 256
サッシ取立手摺	<input type="checkbox"/>	選択 257
(木)建具取付	<input type="checkbox"/>	選択 258
(木)取外手摺	<input type="checkbox"/>	選択 259
(木)処分費	<input type="checkbox"/>	選択 260
建具建付調整	<input type="checkbox"/>	選択 305

↑水色の項目の入力が有効です



7-2 開口入力・開口仕様

仕様選択1	仕様選択2	仕様選択3
新替		
建具本体	<input type="checkbox"/>	選択 203
ガラス	<input checked="" type="checkbox"/>	選択 253 3
雨戸	<input type="checkbox"/>	選択 235
戸箱鏡板	<input type="checkbox"/>	選択 239
窓手摺	<input type="checkbox"/>	選択 286
面格子	<input type="checkbox"/>	選択 287
花台	<input type="checkbox"/>	選択 288
シャッター付	<input type="checkbox"/>	選択 252
開口モール	<input type="checkbox"/>	選択 156
障子本体	<input type="checkbox"/>	選択 246
建具金物	<input type="checkbox"/>	選択 251
規格枠	<input type="checkbox"/>	選択 74

↑水色の項目の入力が有効です

ガラス入力例

入力手順 対象建具線上クリック→ ガラスの替にチェック→ 選択→

仕様変更 - ガラス

コード 253-03 明細工事項目 ガラス工事 仕様名称: 3-5-3mm ペアガラス Low-e

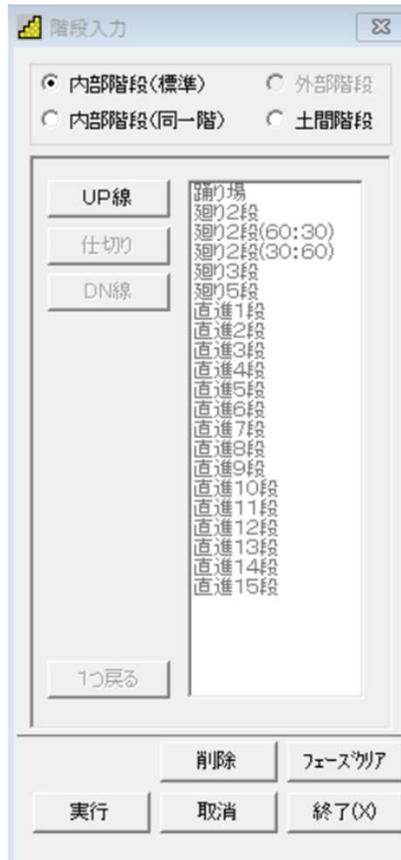
明細No	明細工事項目名	明細枝番	仕様名
248	戸換	01	3-5-3mm ペアガラス
249	戸換(規格)	02	3-6-5mm ペアガラス
250	換	03	3-5-3mm ペアガラス Low-e
251	建具金物	04	3-6-5mm ペアガラス Low-e
252	シャッター	05	網入ガラス
253	ガラス工事	06	ルーバーガラス
254	特殊ガラス	07	透明ガラス
255	サッシ取付費	08	型板ガラス

実行(G) 削除(D) 取消(C) 名称検索(F) 下地1 253-11 取付手間
下地2
下地3

枝番から対象をクリック→ 実行をクリック

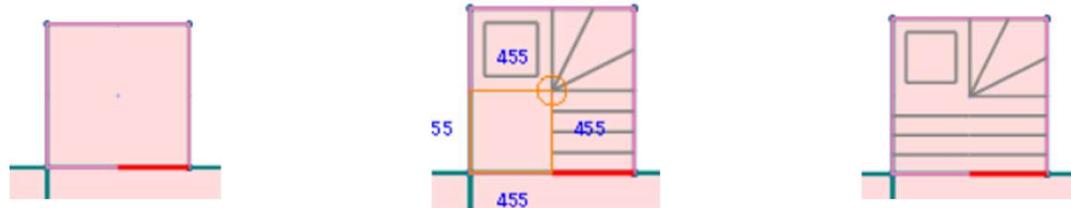
* ガラス左の青マークがない部位は拾い出しません。

8 階段入力



階段入力は、部屋名で階段室と入力されたところが入力対象です

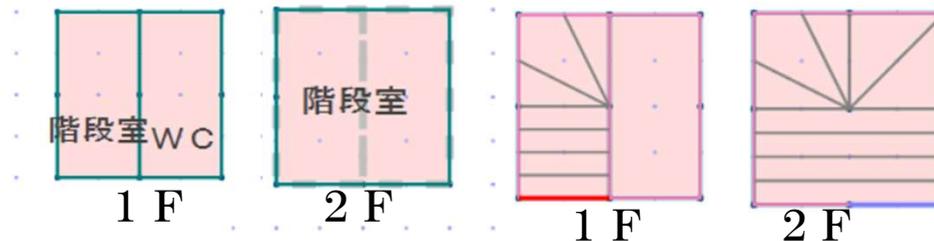
手順はUP線 一段目を2点指示 仕切り閉ループ（対角可） DN線2点指示



通常の1・2階の階段は1階で入力が完結しますDN線の入力も1階でします。

* 外部階段（特殊室）は、逆に2階で入力します。

* 階段下トイレ等の入力は、各階でFLの情報で入力してください。



9 線分入力

線分入力は、基本的に選択して始点終点の2点指示です

慣れるまでは、メニュー下部の文字表示にチェックをつけておくと入力線分の名称が表示されます。

線分座標入力
✖

袖壁	外部階段手摺
たれ壁	地下木製壁
階段手摺	コンクリート壁
内部手摺	木製壁
壁仕上変更	土間階段手摺
庇	バルコニー手摺
框線	ウッドデッキ手摺
床框	界壁
外観確認	

〈壁仕上変更 高さ指示〉

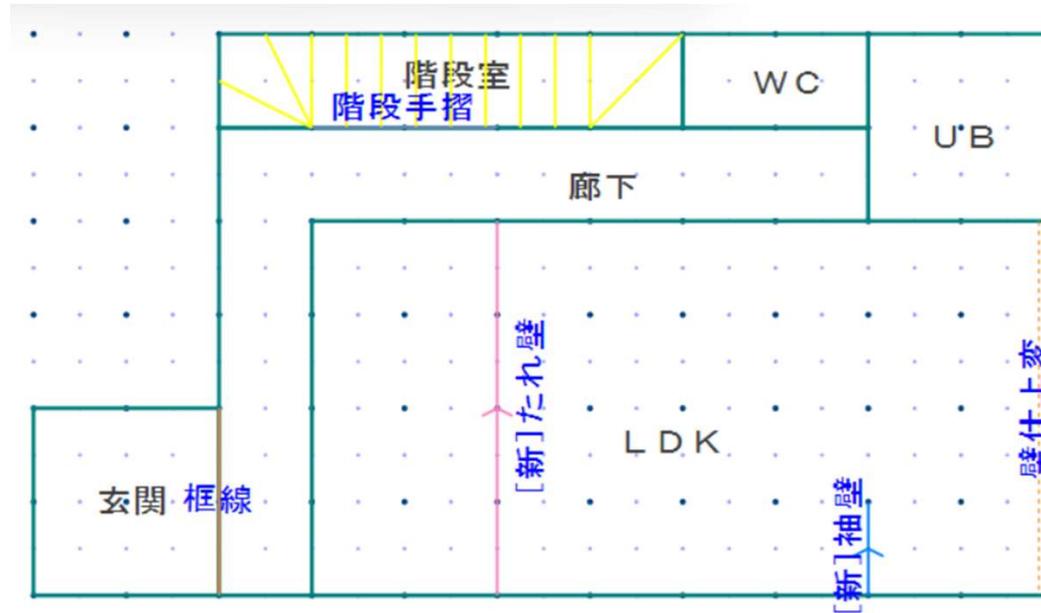
区間変更 腰壁変更(全周)

上端指示:

下端指示:

文字表示 インテリア表示

情報修正	削除	フェースウリア
実行	取消	終了(X)



9-1 線分入力

線分入力

袖壁	外部階段手摺
たれ壁	地下木製壁
階段手摺	コンクリート壁
内部手摺	木製壁
壁仕上変更	土間階段手摺
庇	バルコニー手摺
框線	ウッドデッキ手摺
床框	界壁
外観確認	

<壁仕上変更 高さ指示>

区間変更 腰壁変更(全周)

上端指示:

下端指示:

文字表示 インテリア表示

情報修正	削除	フェースウリア
実行	取消	終了(X)

入力は先述通り、2点指示なので難しくはないのですが、勘違いされることが多い点説明します

階段手摺 = イメージの後付け手摺ではありません 斜め壁です
 内部手摺 = イメージの後付け手摺ではありません 腰までの壁です

後はよく使う入力で、部屋内の仕上を別仕上にする場合です、その時に使用するのが、壁仕上変更です

仕上を分ける（元仕上と違う材）場所を入力します。
 区間入力と 全周腰壁（リビングの羽目板等）

入力区間を2点入力後、部屋内をクリックで材を選択します。

10 柱入力

柱入力
✖

区分
 新設柱 既存柱

種類
 管柱 半柱 芯半柱 床柱
 F1F2通柱 F2F3通柱 B1F1通柱

化粧
 非化粧 化粧 塗込柱

形状
 角 丸

柱受け
 無 有

方向点付 (入力方法)
 通常入力
 開口端点を除く
 開口端点のみ

2点入力

柱区分(新設・既存)の変更

柱直下率計算

柱再自動生成 化粧・非化粧再設定

新設柱のみ表示 下階の柱表示

柱は、柱入力メニューに入ったタイミングで1度自動生成をします。
 生成根拠は、開口部の両端と部屋の角に生成されます、
 その際、増築部分は新設柱、既存改築部分は既存柱となります。

新設柱＝ 金額計上します

既存柱＝ 金額計上しません×表示

間取り変更などあった場合は、再自動生成をすることで条件通り再生成
 します、が、**手入力した柱は消去されます。**

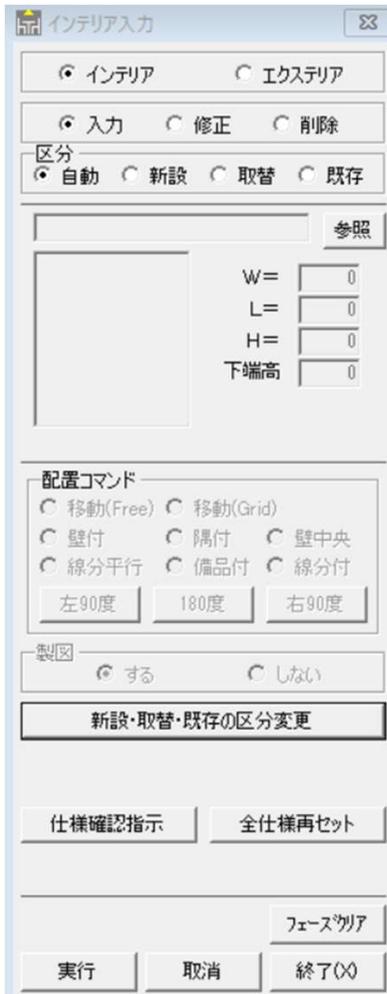
* 半柱は上下左右どちらかに寄ります（指示）が、芯に半柱を入力するには
 芯半柱を使用します。

* 斜め間仕切り上の柱は、間仕切りに合わせるための方向点付けを使用します。

* 柱が多く、画面がうるさく数えにくい場合は、
 新設柱のみ表示をチェックしてください

* 角から600など距離指定しての入力は2点入力を使用します。

11 インテリア

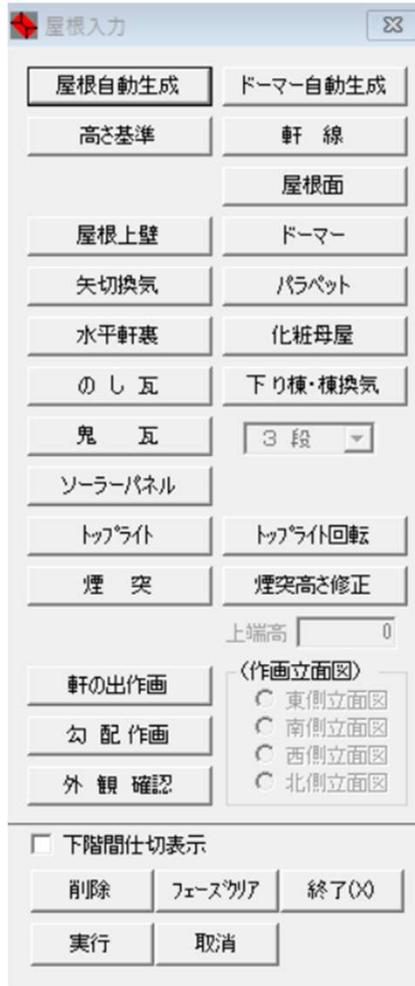


インテリア入力は参照から選択し部屋内にセットします
配置コマンドで、シンボルの向きを調整しセットします



セットし実行することで区分が決定します、区分が自動であれば
増築部屋セットで新 改築部屋セットで替 既存セットで既 となります
拾いとしては既=拾わない 新=製品代・取付費 替=製品代・
取付費・取り外し処分費となります。

12 屋根入力 (自動生成)



屋根入力

屋根自動生成	ドーマー自動生成
高さ基準	軒線
	屋根面
屋根上壁	ドーマー
矢切換気	パラペット
水平軒裏	化粧母屋
のし瓦	下り棟・棟換気
鬼瓦	3段
ソーラーパネル	
トップライト	トップライト回転
煙突	煙突高さ修正
	上端高 0
軒の出作画	(作画立面図)
勾配作画	<input type="radio"/> 東側立面図
外観確認	<input type="radio"/> 南側立面図
	<input type="radio"/> 西側立面図
	<input type="radio"/> 北側立面図
<input type="checkbox"/> 下階間仕切表示	
削除	フェースクリア
実行	終了(X)
	取消

屋根入力は大きく分類すると自動生成と手動入力となります

自動生成は、外壁線を基準に生成をします、斜め間仕切りは不可です



(屋根自動生成)

寄棟	切妻(横棟)	切妻(縦棟)
片流れ(上↑)	片流れ(左←)	
片流れ(下↓)	片流れ(右→)	

自動生成手順 形状指定→ 屋根NO指示
 (#01~#10) 任意でOK
 調整入力→ 実行 行いますか? はい
 で生成します。

自動生成調整可能内容

寄棟 = 一部切妻指示 一部入母屋指示 入母屋の入り量設定

切妻 = 妻側軒の出変更 桁側軒の出変更

片流れ = 水上軒の出変更 ケラバ軒の出変更 水下軒の出変更

12-1 屋根入力 屋根面 屋根区分

屋根面

面入力 指定点作成

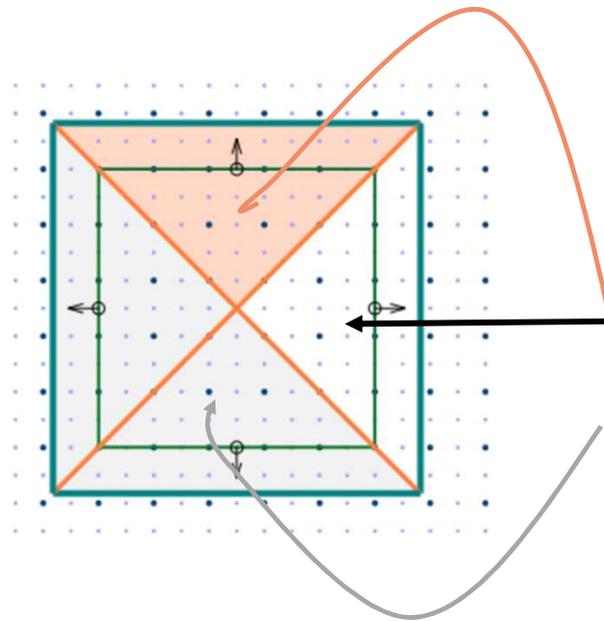
スノーレン面入力

M型軒先面入力

区分
 新設 葺替 既存

屋根勾配フリー指示 取り合い入力

新設・葺替・既存の変更



屋根にも 新設・葺き替え・既存の区分があります。
 間取りと同様に
 新設＝白抜き
 葺き替え＝オレンジ
 既存＝灰色
 となります。

新設＝ 増築部分等にかかります モチロン拾い対象です

既存＝ 拾い出ししません（厳密には全体数には反映します）

葺き替え＝仕上施工費と葺き替え費用を拾います。（葺き替え内容は軒線の屋根Noで設定します）

12-3 屋根入力 軒線 仕上

釉薬瓦 和型の文字をクリック

No	破風板表現	屋根仕上材	〈相
#01	化粧合板	釉薬瓦 和型	
	垂直		
#02	化粧合板	釉薬瓦 和型	
	垂直		
#03	化粧合板	釉薬瓦 和型	
	垂直		

屋根仕様選択

【屋根No: #01の仕様選択】

屋根仕上材選択 | 軒裏仕上材選択 | 破風・鼻隠し選択 |

[屋根仕上材]

101 - 11 釉薬瓦 和型 終了(X)

明細枝番	仕様名
01	ガルバリウム鋼板 瓦棒葺
02	ガルバリウム鋼板 平葺
03	平葺 銅
04	コロニアル
05	アーバニー
06	陶器瓦 和型
07	洋瓦
08	モニエル
09	釉薬瓦 平型
10	釉薬瓦 平型 化粧野地
11	釉薬瓦 和型
12	釉薬瓦 和型 化粧野地
13	釉薬瓦 和型 〈役物別〉
14	★★★★屋根 塗替工事★★★★

下地1 102-02 構造用合板 910×1820×12mm 下地変更

下地2 102-03 アスファルトルーフィング 22kg

下地3

使用する材を青くすることで変更されます

12-4 屋根入力 軒線 葺き替え情報

屋根情報入力 [RF]

屋根No	葺き方式 破風板表現	屋根仕上材	作面情報 (模様)	勾配 (n/100)	軒の出 (mm)	垂木間隔(mm)	単価割増率 (%)	改築情報	保存(S)	取消(C)
#01	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報	保存(S) 取消(C)	
#02	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#03	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#04	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#05	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#06	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#07	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#08	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#09	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		
#10	化粧合板 垂直	雑葺瓦 和型	瓦	40	750	910.00 /	2	改築情報		

↑ BOX内クリックで仕構選択画面が表示されます

↑ BOX内クリックで作面選択画面が表示されます



屋根改築情報

【屋根No. #01の屋根改築情報】

【葺替屋根】 解体 復旧

野地板
 解体無し・カバー工法 垂木
 瓦系 垂木
 カラーベスト系 母屋
 金属系 小屋束

仕上 垂木
 下地 母屋
 小屋束

下地処理選択 157 -

【取合部分】 解体

解体無し 瓦系 カラーベスト系 金属系
 野地板 垂木 母屋 小屋束

【軒裏】 解体 復旧

葺替屋根 既存屋根
 外装解体選択 435 -

仕上 下地
 下地処理選択 157 -

【破風・鼻隠し】 解体 復旧

葺替屋根 既存屋根
 外装解体選択 435 -

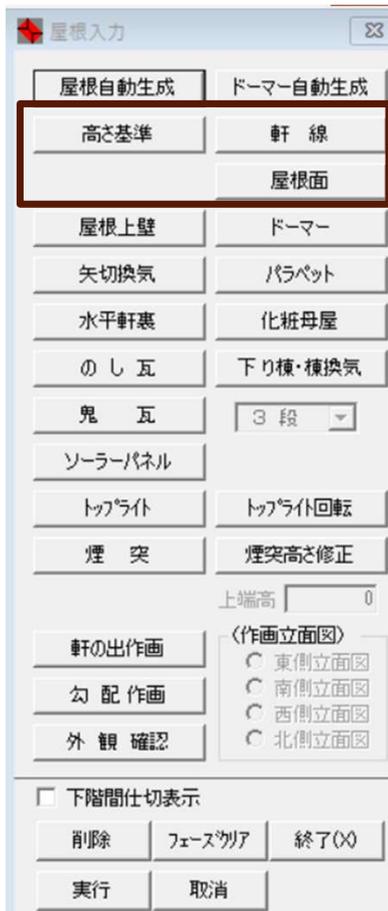
仕上 下地
 下地処理選択 157 -

終了(O)

屋根情報内の右側の改築情報で、該当屋根Noの葺き合え指定時の葺き替え情報を決めます
 葺き替え内容が違う場合屋根Noを分ける必要があります
 例1F南の屋根は小屋組みから組直す、北屋根は野地板までやり直すであれば
 屋根Noを2個使用します。

12-5 屋根入力 手入力（高さ基準）軒高

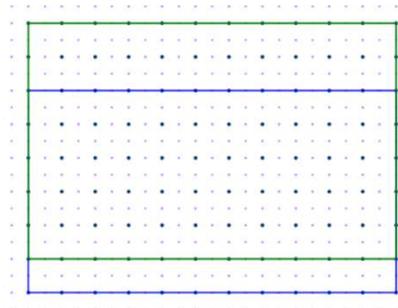
屋根の手入力では、高さ基準・軒線・屋根面のメニューを使います。




高さ基準

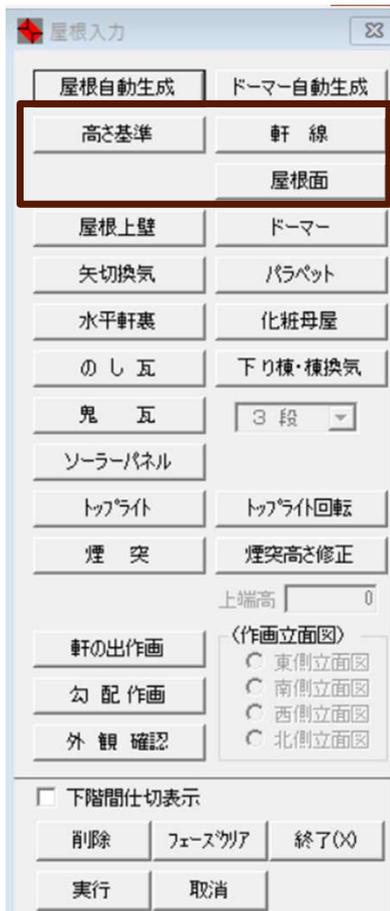


軒高は、外壁と同一でグルリと自動生成します、作成した緑ラインが初期軒高（仕様入力全体情報2）となります
 外壁と同一ではなく、母屋上りであれば、外壁より外側に母屋下がりであれば外壁より内側にラインを入力することもできます。



青線が外壁線・緑線が軒高です

12-6 屋根入力 手入力（高さ基準）下屋軒桁

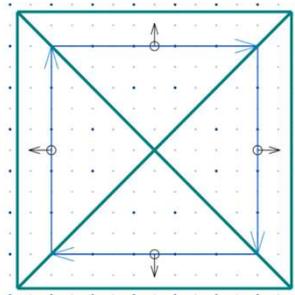


下屋軒桁

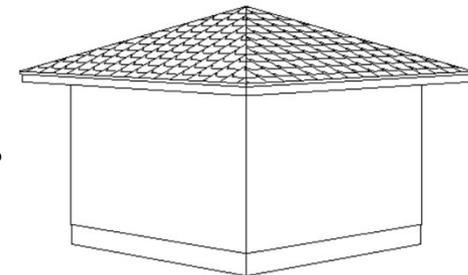
下屋軒桁は、軒高以外に高さ基準が必要な場合などに2点入力で、指示します。



この基準線は下屋軒桁修正で高さを変える事が出来ます。
 更に流れ方向も決まっています。上記の線では、上に流れます
 この流れ方向の覚え方としては、寄棟の外周を時計回りに矢印が付いていれば、
 外側に流れると覚えてください。



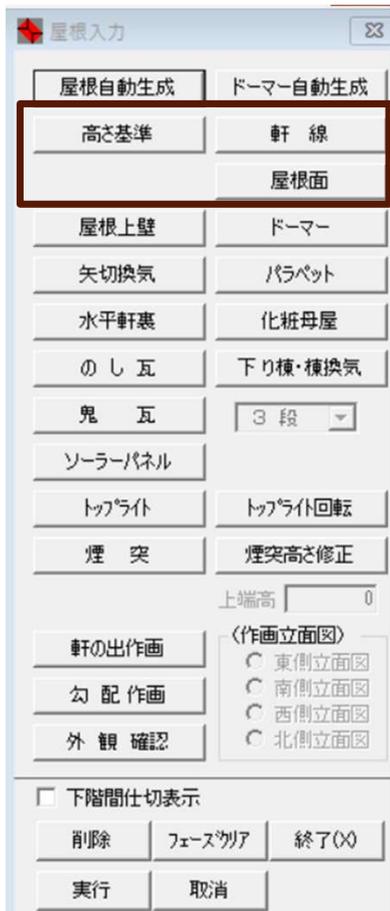
青矢印が下屋軒桁、
 黒丸付矢印が流れ方向です。

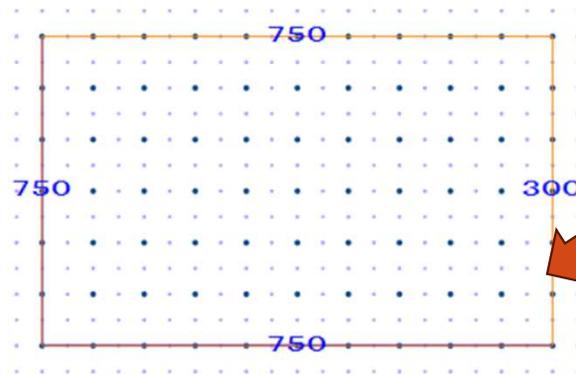


12-7 屋根入力 手入力（軒線）

軒線入力は、屋根NOを指定した段階で入力状態となります。
 この状態で、軒の出が出る前のラインを入力します。
 外壁と同一のケースが多いのでボタンを用意しています。

閉ループ入力後、実行で軒が出ます。
 （個別で軒の出を変える場合実行前に数値を入力し、線上を指示します）



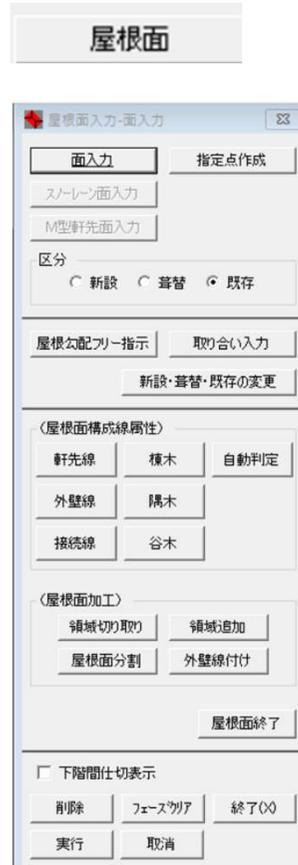
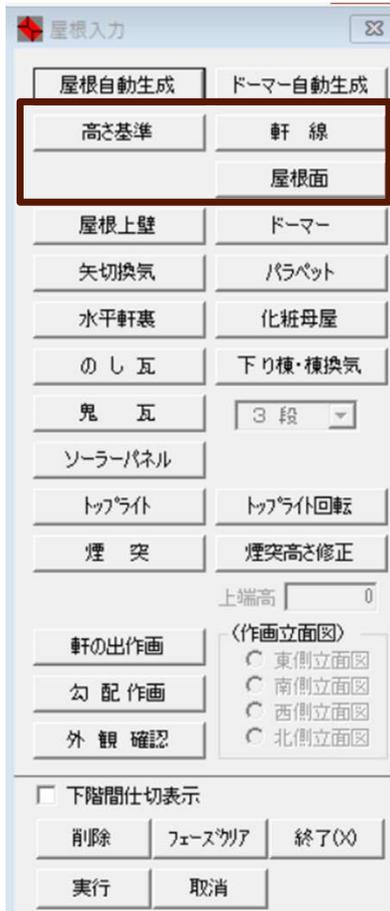



300を入力し線上をクリック

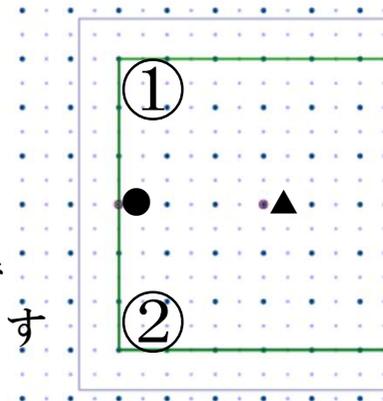
表示数値変更後実行で、東のみ300 その他750の軒が出ます

12-8 屋根入力 手入力（屋根面）

屋根面は面入力で、屋根伏の形状を入力します。
 よく使う中央の点・45度の交点は、指定点で入力します。
 指定点の作成は、2か所から指定します。
 指定点の作成は基本的に高さ基準で取る習慣をつけてください。
 （軒の出が違うケースの対応の為）



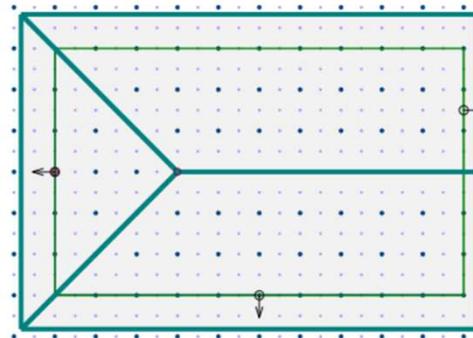
①の角から真下と
 ②の角から真上で
 ●点が作成されます



①の角から右下と
 ②の角から右上で
 ▲点が作成されます

12-9 屋根入力 手入力（屋根面）

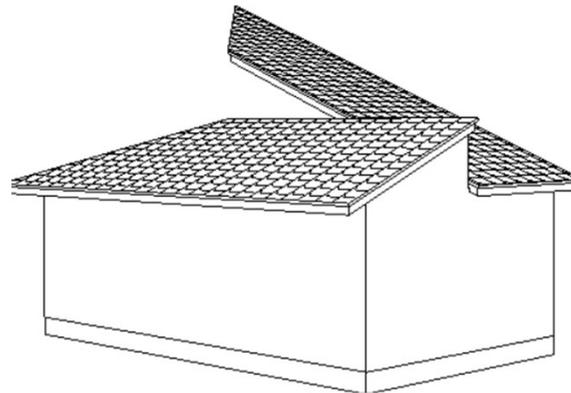
屋根形状入力後、流れ方向基準を指定することで、基準高さと、流れ方向が確定します。



これ慣れていれば、間違え点すぐわかるのですが上の面が右に流れる状態になっています

どうなっているかという・・・

外観で見ればすぐ確認できます。



屋根入力

屋根自動生成 ドーマー自動生成

高さ基準 軒線
屋根面

屋根上壁 ドーマー
矢切換気 パラペット
水平軒裏 化粧母屋
のし瓦 下り棟・棟換気
鬼瓦 3段
ソーラーパネル
トップライト トップライト回転
煙突 煙突高さ修正

上端高 0

軒の出作画 (作画立面図)
 東側立面図
 南側立面図
 西側立面図
 北側立面図

外観確認

下階間仕切表示
 削除 フェースツリア 終了(X)
 実行 取消

屋根面

屋根面入力-面入力

面入力 指定点作成
 スローン面入力
 M型軒先面入力

区分
 新設 替替 既存

屋根勾配フリー指示 取り合い入力
 新設・替替・既存の変更

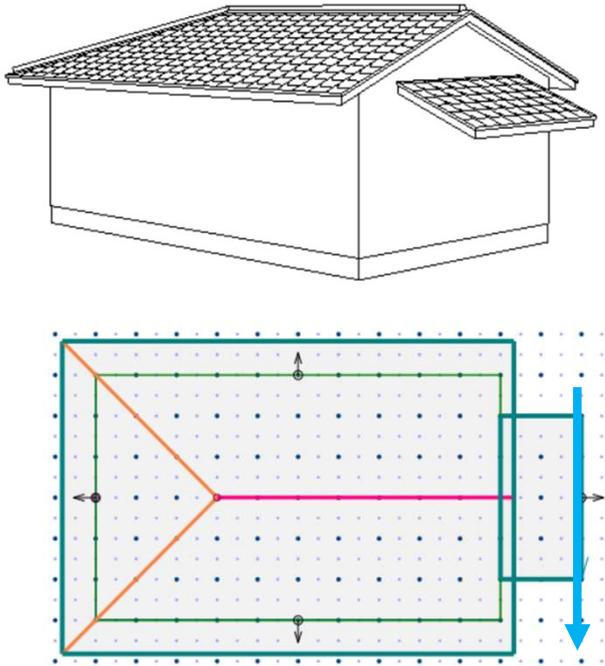
<屋根面構成線属性>
 軒先線 棟木 自動判定
 外壁線 隅木
 接続線 谷木

<屋根面加工>
 領域切り取り 領域追加
 屋根面分割 外壁線付け

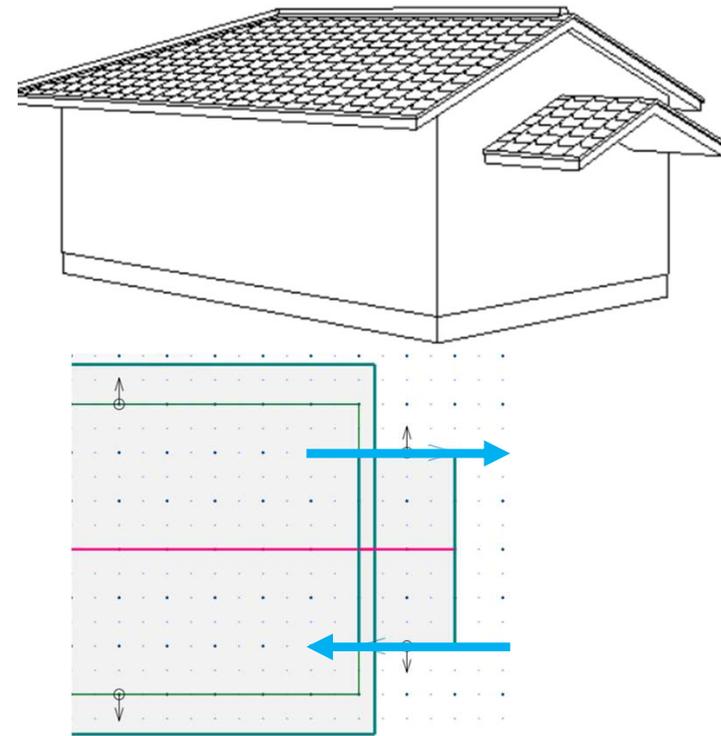
屋根面終了

下階間仕切表示
 削除 フェースツリア 終了(X)
 実行 取消

12-10 屋根入力 手入力（下屋入力例）



青線が下屋軒桁入力ラインです
 下向きの矢印ですので右に流れます
 下屋軒桁修正で高さ2500に指定しています。

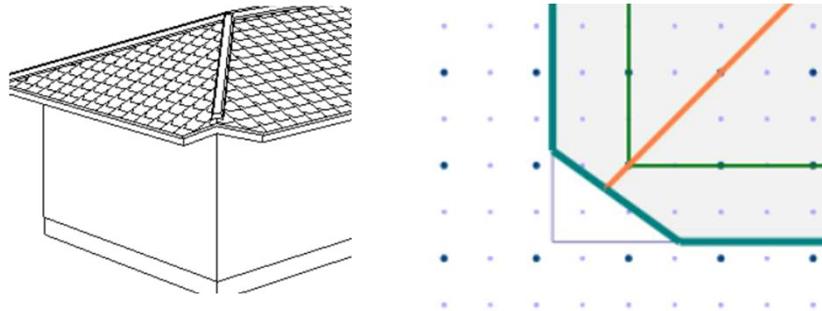


青線が下屋軒桁入力ラインです
 矢印方向で流れが決まります
 下屋軒桁修正で高さ2500に指定しています。

12-11 屋根入力 (面入力 屋根面加工)

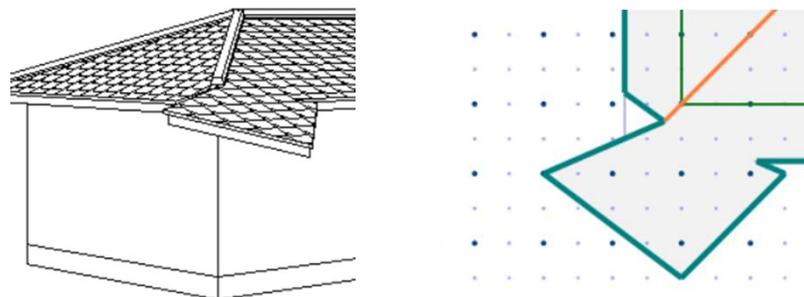
面入力内の屋根面加工は、実はすごく応用の効くメニューです

領域切り取り 入力後の屋根を切り取りできます

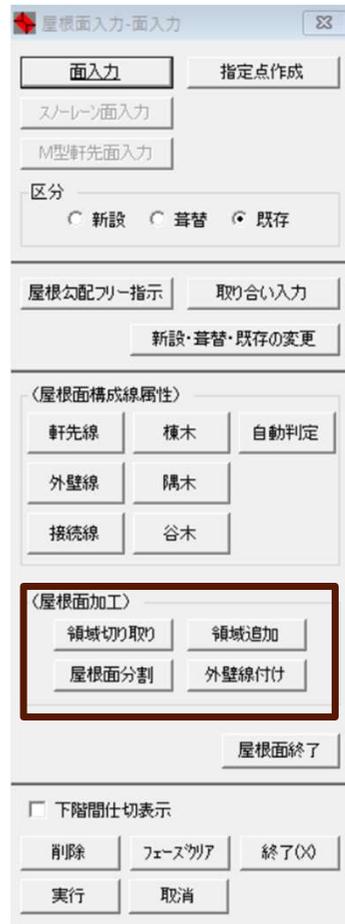
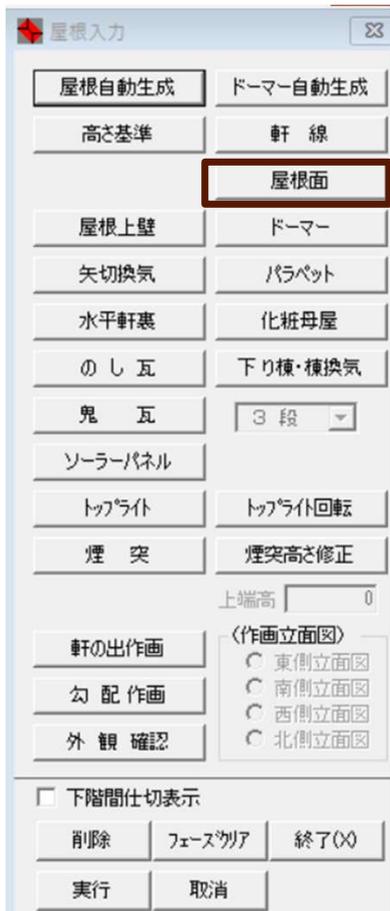


切り取るエリアを
囲み対象屋根面を
指示

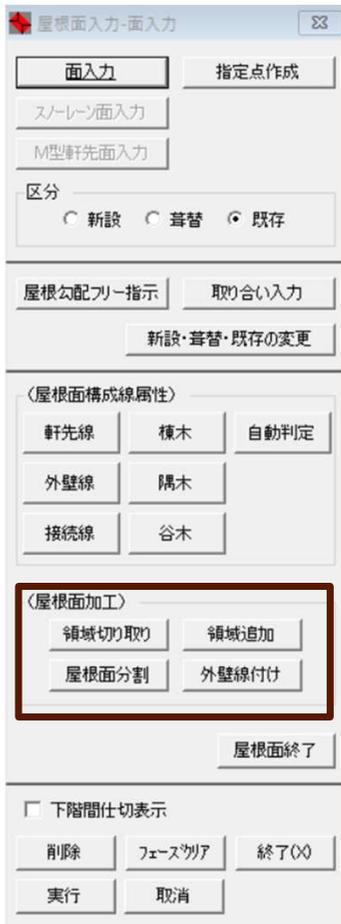
領域追加 入力後の屋根にフリーで追加できます



追加するエリアを
接している状態で
囲み、繋げる面を
指示

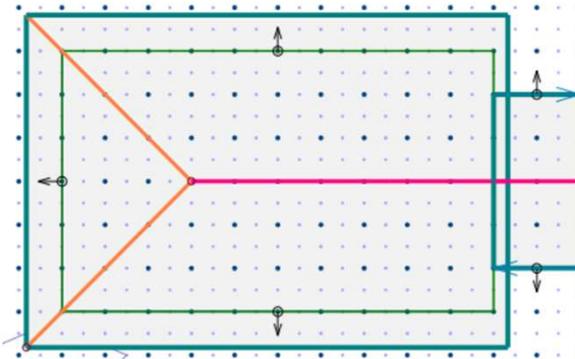


12-11 屋根入力 (面入力 屋根面加工)



屋根面分割

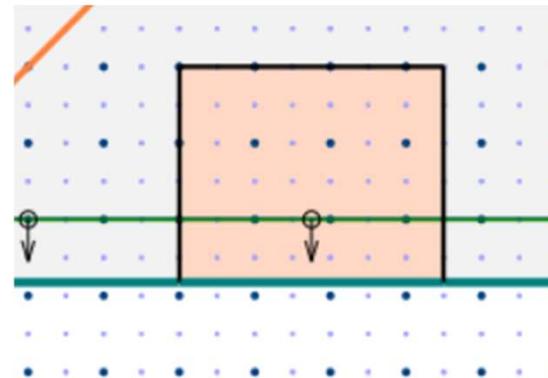
入力した屋根面を分割します



画面全部グレーなので既存屋根です。
 1部分葺き替えなので、葺き替えに変更したいのですが変更できるのは面単位なので部分的には支持できません。
 そこでその一部を分割します。



屋根面分割クリック後
 囲みます



一部葺き替え
 指示できました

対象屋根面を指示後実行で分割しました



12-12 屋根入力 まとめ

屋根入力は、自動生成でもある程度の屋根ならかかります、
ただ、複雑な屋根はかかりません、外壁腺を軒高で生成する為です
斜めの外壁腺がある場合は、自動生成を受け付けませんが、斜めが無ければ一応自動生成はしてくれます。

なので、複雑な屋根を入力する際、一旦自動生成を試してみるのも手です。

屋根の手動入力も慣れると簡単です、どのメニューで何をすることが分かれば難しくありません。
使うメニューは3つ

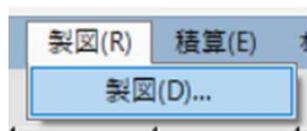
高さ基準 桁廻りのラインを入力します、軒高は仕様入力全体情報2の軒高が反映、下屋軒高は修正可能

軒線 仕上材、勾配 軒の出 葺き替え内容を屋根Noで設定 軒の出で屋根面入力エリアを確定

屋根面 面形状を入力（軒線エリア内）後、基準ラインの指示が必要なため、順番的には軒線や高さ基準
が入力済の状態が必要

13 製 図

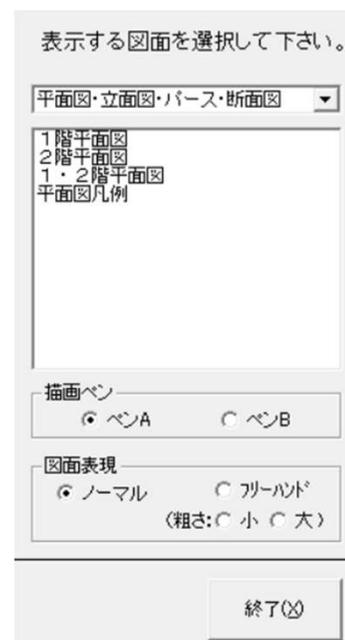
入力完了後積算の流れに行きたいのですが、図面から入力漏れの確認も取れるため、平面図は確認したいので、平面図作成の流れも説明します。（立面は外観確認で確認できるため）



平面図をチェック後
メニュー下部の実行で平面図が作成されます



作成後



対象図面をクリックで
図面が表示されます

続きます



13-1 製 図

既存の間取り（灰色間取り）は斜線が掛かります

BF 1F 2F 3F

10010
455 1385 910 1820 1820 1820 1820

(窓) 07407 (窓) 07409 (窓) 07405

3140 910 1820 2710 16518

16518 16518 16518

3840 8270 10010

16518 1820 3140 16518

柱入力に入っていないため
柱が生成されていません

★框が入っていません
ホール・玄関は既存の為
このケースは数値に関係
ありませんが、右の袖壁が
新設の場合柱は拾いません、
このようなケースを
想定すると一応平面図の
チェックが有効です。

框線入力してません

13-2 製 図 レイアウト印刷の流れ



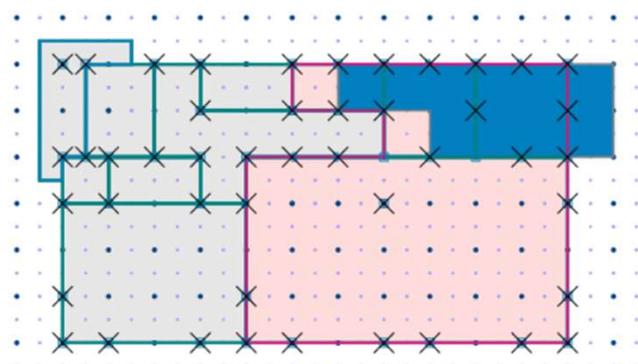
2枚目をレイアウトする場合は、追加から同作業を繰り返します。
複数枚レイアウトした図面を全部印刷する場合は、全図面印刷で
全て印刷されます。

14 見積計算 面積確認



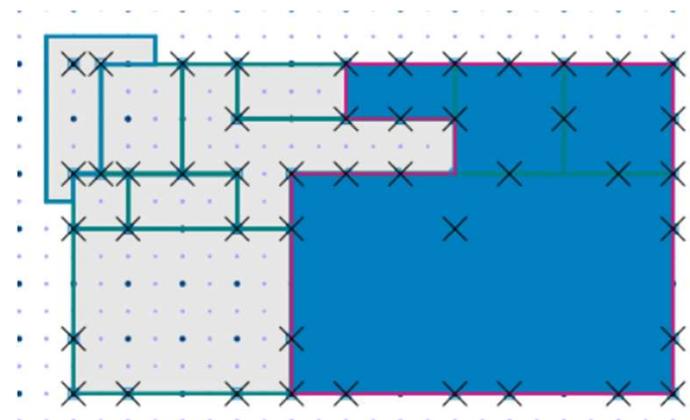
見積計算は、文字通り積算ボタンなのですが、積算をする前に重要な項目があります。

面積確認と仕様確認です面積は途中プラン変更などが無ければ、基本的には正しく拾いますが、プランを変更した場合、前回の面積が残ります。下図参照



地階 改築床面積	0.00
1階 改築床面積	8.28
2階 改築床面積	0.00
3階 改築床面積	0.00

再計算後



地階 改築床面積	0.00
1階 改築床面積	31.46
2階 改築床面積	0.00
3階 改築床面積	0.00

青い部分が1階改築と判断していますが、これがプラン変更前の情報です。

14-1 見積計算 仕様確認



仕様確認

仕様確認も非常に重要です、ココ確認となっていますが、入力もあります。

部屋の仕上材・屋根材・外壁材・備品の変更・や、部屋電気設備では、エアコンの脱着や撤去など
入力することができます

(25)エアコン脱着費	515-01	養生共	0	0
(26)幹線引込工事	311-01	幹線引込工事	0	0
(27)分電盤 増設・新設工	312-06	14回路	0	0
(28)分電盤 取替工事	332-09	20回路	0	0
(29)子メーター 増設工事	521-01	子メーター 増設工事	0	0
(30)エアコン撤去費	517-01	処分共	0	0

該当項目の個数を入力することで
拾い出しをします。

14-2 見積計算 見積方法説明



仕様見積 |

掛率・費率設定

見積方法

新規見積

新規見積(追加データを残す)

基礎伏連動

無

有

構造材明細連動

無

有

新規見積 文字通りです、最初に積算する時に黒目が入ります。

新規見積 (追加データを残す) 再計算時に黒目が入ります。

追加データとは見積修正時に変更した項目や、追加した項目に対しフラグを付ける事が出来る機能です。

追加データを残すではフラグ付きデータを消さない見積方法です。

基礎伏連動/構造材連動は、伏図入力（オプション）で作成したデータの連動の有無です。

掛率・費率設定

受注・発注工事単位（一括も可）の単価に対して倍率設定ができます。ここでの作業では、該当物件のみの単価金額が変更されます。

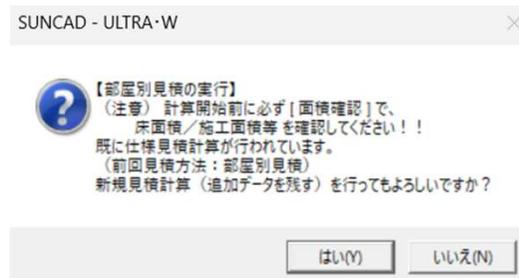
14-3 見積計算 見積方法説明

部屋別見積の実行

基本的に部屋単位で集計します、ただし、解体エリアや柱や屋根など部屋に割り振れない部材は、各大工事に集計します。

業種別見積の実行

大工事項目 仮設・基礎・木に集計します、新築と同様の並び順となります。



見積実行時に確認メッセージが表示されます。

15 見積修正



SUNCAD-ULTRA-W 見積書 修正/出力 - [見積書 修正/出力]

ヘルプ(H)

見積書 修正/出力 ヘルプ Access情報

見積書 修正	見積書 出力
工事仕様書修正	集計印刷前の金額確認 集計印刷金額確認
受注見積書修正	工事見積書一式出力 受注 発注
受発注見積書修正	工事見積書出力 受注 発注 受発注
発注見積書修正	内装工事内訳書出力 受注 発注
	工事明細見積書出力 受注 発注 受発注
	内装材集計 <input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷プレビュー プレビュー画面の左上の印刷ボタン をクリックすると印刷できます
	Excel書式 出力 帳票出力設定
	テキスト書式 出力
	見積修正の終了(X)

修正 印刷

見積実行後見積修正で、修正/出力が起動します。左側が修正、右側が印刷となります。

現状 部屋別で見積を実行しています先ほどの説明通り、部屋単位で集計されています
[]の内装材集計はしないに黒目がチェックされています、これをするにチェックすると、同一材は集計されてしまい、部屋別が崩れます。これは業種別で見積時に使用しますトータルのクロス数等のチェック時に、するに黒目をつけて確認に使用します。

修正画面は様々な機能があるため、確認は印刷の方が確認し易いです、そのため [] の印刷プレビューのチェックは付けたまま運用します。

15-1 見積修正



工事仕様書修正

- ・ 工事仕様書（2枚目）の修正
- ・ ★表紙の日付の変更もココでします。



受注見積書修正

- ・ 受注見積書の変更手直しができます。
- ・ 明細名称検索・受発注単価利益率変更・経費再計算



受発注見積書修正

- ・ 受注・発注見積書の変更手直しができます。
- ・ 明細名称検索・受発注単価利益率変更・経費再計算



受注見積書修正

- ・ 発注見積書の変更手直しができます。
- ・ 明細名称検索・受発注単価利益率変更・経費再計算

15-2 見積修正



受発注見積書修正画面より仮設工事に入りました

工事No.			仕様見積書修正画面											
1 仮設工事			受注					発注					利益率	差額
明細No.	工事	明細工事項目名	工種No.	受注数量	単位	受注単価	受注金額	発注数量	単位	発注単価	発注金額	下地登録検索	単価登録	
追加	無効	仕様		備考(受注)				備考(発注)						
002-02	<input type="checkbox"/>	外部足場架組み積料	3	248.07	m ²	1300	¥322,491	248.07	m ²	980	¥243,108	24.62%	¥79,383	
	<input type="checkbox"/>	鋼管足場(掛け面積)												
011-01	<input type="checkbox"/>	外部 養生費	1	248.07	m ²	260	¥64,498	248.07	m ²	200	¥49,614	23.08%	¥14,884	
	<input type="checkbox"/>	養生ネット(掛け面積)												
006-01	<input type="checkbox"/>	仮設電気	19	1.00	式		====¥39,000	1.00	式		====¥31,200	20.00%	¥7,800	
	<input type="checkbox"/>	無効 100V 20A 2口												
007-01	<input type="checkbox"/>	仮設水道	20	1.00	式		====¥26,000	1.00	式		====¥20,800	20.00%	¥5,200	
	<input type="checkbox"/>	無効												
571-01	<input type="checkbox"/>	仮設トイレ	3	1.00	式		====¥52,000	1.00	式		====¥39,000	25.00%	¥13,000	
	<input type="checkbox"/>	無効												
598-01	<input type="checkbox"/>	家具移動費	1	2.00	人工	29900	====¥59,800	2.00	人工	22100	====¥44,200	26.09%	¥15,600	
	<input type="checkbox"/>	無効 運搬人夫												
591-01	<input type="checkbox"/>	工事車両駐車場	1	1.00	ヶ月	26000	====¥26,000	1.00	ヶ月	26000	====¥26,000	0.00%	¥0	
	<input type="checkbox"/>	無効 月10,000円×2台												

有効無効反転(S)	明細検索	受注小計	¥386,989	発注小計	¥292,722	24.36%	¥94,267
全有効(E)	基本数量参照(R)	工事費受注合計	¥6,903,038	工事費発注合計	¥5,047,724		
全無効(N)	コメント挿入(K)	複写(E)	移動(M)	追加(A)	挿入(I)	削除(D)	更新(U)
							閉じる(X)

様々なデータが変更できますが、
 ご注意いただきたいのは、
 計算を掛けた後のデータの為
 3×6を3×8等に変えても枚数は
 変わりません。
 その様な枚数が変わるべき指定は
 計算前にして下さい。

赤字で無効付の項目は、
 印刷時には印刷されません、
 無効を外すには無効左のボックス
 をクリックしてください。 無効
 また、無効でない項目も同作業
 で無効表示にできます。

15-3 見積修正



部屋別積算後 内装工事でLDKを選択した画面一部です

プルダウンのボタン説明します

11 内装工事		部屋名 LDK	
No.	工事	明細工事項目名 仕様	工種No.
02	無効	天井クロス (内装)	12
		ビニールクロス	
02		壁クロス (内装)	12
		ビニールクロス	

③

②

①

③

全ての大工事がプルダウンします
ココを使用する事で別の大工事の項目も入力できます。
部屋内に基礎の項目等と呼ぶ等かできます

無効	仕
1	仮設工事
2	解体工事
3	基礎工事
4	木工事
5	建材工事
6	屋根工事
7	外装工事
8	塗装工事
9	金属建具工事
10	木製建具工事
11	内装工事
12	左官・タイル工事
13	設備機器工事
14	ガス工事
15	エコキュート工事
16	給排水衛生設備工事
17	電気工事
18	雑工事
19	付帯工事

① 天井クロスの中がプルダウンします

▼ ビニールクロス	
1	ビニールクロス
2	ビニールクロス
3	ビニールクロス
4	ビニールクロス 耐水
5	珪藻土クロス
6	ビニールクロス 軽鉄下地組み
7	*仕上なし
▼ 床板材 (内装) 6 ▼	

② 内装工事の中がプルダウンします

▼ 天井クロス (内装)		12 ▼
171	天井クロス (内装)	
172	壁クロス (内装)	
178	カーペット (内装)	
179	シート材 (内装)	
181	下地材 (内装)	
501	501~999は登録自由	
636	ソフト巾木	

15-4 見積修正 追加の使用方法



天井クロスを、元数値23.18㎡を手を加えて30㎡にしました。

品名	単位	数量	単価	金額
▼天井クロス (内装)	12	30.00	㎡	30.00
▼柄クロス 目地合わせロス込み				
▼壁クロス (内装)	12	38.08	㎡	38.08

この状態で更新をかけておけば、次回起動時にも30の数値は残ります。
ただし、再度見積計算をした場合、元のビニールクロス23.18㎡に戻ります。
この様なケースを避けるために追加チェックをします

▶ 171-02	▼天井クロス (内装)	12	30.00	㎡
<input type="checkbox"/> 追加	▼柄クロス 目地合わせロス込み			

追加左のボックスをクリックでON OFFです



15-5 見積修正 追加の使用方法



基本的に再計算時は新規見積（追加データを残す）にチェックが付いています

見積積算メニュー

追加データを残すにチェックが付いている状態で計算した場合
追加フラグの項目は残ります。（新規見積に黒目した場合は消えます）
* 変更した項目はダブります。

▶ 171-02	▼	▼天井クロス（内装）	12	▼	30.00	m ²	▼	1600	▼	¥4
<input type="checkbox"/>		追加	▼柄クロス 目地合わせロス込み							
171-02	▼	▼天井クロス（内装）	12	▼	23.18	m ²	▼	1600	▼	¥6
<input type="checkbox"/>			▼ビニールクロス							
172-02	▼	▼壁クロス（内装）	12	▼	38.06	m ²	▼	1600	▼	¥6
<input type="checkbox"/>			▼ビニールクロス							

天井クロスに追加した30m²と
元々の23.18m²が2行表示されます。

まるまる新規で追加した項目の
追加はダブりません。

* 数量も仕様も単価も変更し残したい項目は追加です

15-6 見積修正 単価の変更



▶ 171-02	▼	▼天井クロス (内装)	12▼	23.18㎡	▼	2000	¥46,360	23.18㎡	▼	1200	¥27,816	40.00%	¥18,544
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	▼ビニールクロス		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
170-00	▼	▼壁クロス (内装)	10▼	20.00㎡	▼	1600	¥32,000	20.00㎡	▼	1600	¥32,000	95.00%	¥15,000

受注単価を1600から2000に変更しました。更新をすることで次回開いても2000円として残ります。ただし、再計算した場合1600に戻ります、2000円を残すには追加をチェックして青表示してください。

 **要チェック** 再計算をした場合1600に戻るのは、マスターが1600の為です。毎回2000に変更しているのであれば、マスターを2000にする事で、変更手間を省けます。通常マスターの変更はユーティリティから入り変更作業をします。

実はこのマスター金額の変更が、この画面からも可能です。つまりこの2000の変更が該当物件だけの変更か次物件以降も2000にするかの選択が出来るというわけです。



15-7 見積修正 単価の変更



先ほどの画面を上メニュー名称が分かる状態でコピー仕直しました

明細No. 工事 追加 無効	明細工事項目名 仕様	工種No.	受注数量 単位 備考(受注)	受注単価 受注金額	発注数量 単位 備考(発注)	発注単価 発注金額	利益率 下地登録検索	差額 単価登録
▶ 171-02	天井クロス (内装) ビニールクロス	12	23.18[m ²]	2000 ¥46,360	23.18[m ²]	1200 ¥27,816	40.00%	¥18,544

メニューの右端の□ボックスをクリックすると、単価登録メニューにジャンプします。

単位	m ²	発注単価	1200	最低金額		
枝番	仕様	ビニールクロス	模様コード			
2	ランク		下地1	18201 参照...	下地2	0000
<input checked="" type="checkbox"/>	単位	m ²	受注単価	2000	最低金額	
	単位	m ²	発注単価	1200	最低金額	
枝番	仕様	ビニールクロス	模様コード			

受注単価2000と単価を持った状態でマスターが開きます。

確認用に枠下に元単価1600が表示されます、この状態で

更新をするとマスターが2000に変更され、次回のプラン

から天井クロスは2000円で出力されます。

15-9 見積修正 業種別発注書作成



業種別発注書作成メニュー

業種別発注書作成メニュー

工種別見積修正

業種工種設定

業種別発注計算

発注額修正

業種別発注一覧表出力 Excel書式出力

業種別発注明細出力 Excel書式出力

印刷プレビュー
プレビュー画面の左上の印刷ボタンをクリックすると印刷できます Excel原本調整

発注書表紙修正

帳票出力設定

発注書表紙デフォルト変更

終了(X)

業種別発注書は、1部材1部材ごとに業種のコードを持っている、（登録されています）コード単位で集計し発注業者を選択することで、業者別の発注書が作成されます。

コード	0	仕様出力	<input checked="" type="checkbox"/>	0円出力	<input type="checkbox"/>	備考1行
	00000	参照...	下地3	00000	参照...	備考2行
	0	工事No	11	数量係数		
	0	工種No	12	数量係数		
			12	クロス工		

クロス単価の1部です
上部の工事NO11が内装工事
下部の工種NO12がクロス工
で登録されています。
このクロス工で集計された

項目に、発注先業者を設定します。
上記の工事NOは、見積時の集計先、
工種NOは、発注時の集計先となります。

15-10 見積修正 業種別発注書作成

工種別見積修正



同様のフォームですが、工種集計は何処の業者に金額ボリュームがあるか判断できます。

No.	更新 有無	工事項目名	費率%	金額(受注)	費率%	金額(発注)	差	
1		仮設工事		¥386,989		¥292,722		
2		解体工事		¥421,726		¥313,940	¥	
3		基礎工事		¥0		¥0		
4		木工事		¥324,402		¥242,394		
5		建材工事		¥19,794		¥15,834		
6		屋根工事		¥552,148		¥416,311	¥	
7		外装工事		¥2,184		¥1,601		
8		塗装工事		¥376,234		¥310,802		
9		金属建具工事		¥0		¥0		
10		木製建具工事		¥0		¥0		
11		内装工事		¥4,142,509		¥3,097,048	¥1,0	
12		左官・タイル工事		¥0		¥0		
13		設備機器工事		¥0		¥0		
14		ガス工事		¥33,200		¥24,900		
15		エコキュート工事		¥45,500		¥34,200		
16		給排水衛生設備工事		¥150,000		¥150,000		
17		電気工事		¥0		¥0		
18		雑工事		¥0		¥0		
19		付帯工事		¥0		¥0		
		(小計)		¥6,454,686		¥4,899,752	¥1,5	
20		運搬費	2.00	¥129,933		¥97,995		
21		諸経費	1.00	¥329,188		¥49,977	¥	
				工事費合計		¥6,912,967	¥5,047,724	¥1,8
				値引き		¥0	¥0	
				工事費合計-値引き		¥6,912,967	¥5,047,724	¥1,8
				消費税額		¥691,296	¥504,772	
				(切り捨て)				
				税率 (10%)			税率 (10%)	
				税込み合計		¥7,604,263	¥5,552,496	

工事集計

No.	工種名	費率%	金額(受注)	費率%	金額(発注)	差額		
1	本体		¥265,641		¥197,459	¥68,182		
2	解体工		¥765,726		¥570,944	¥194,782		
3	鷹		¥369,291		¥278,288	¥91,003		
4	大工		¥583,460		¥433,700	¥149,760		
5	木材		¥256,386		¥194,528	¥61,858		
6	建材		¥2,270,719		¥1,707,131	¥563,588		
7	屋根工		¥0		¥0			
8	板金工		¥458,288		¥345,241	¥113,047		
9	左官工		¥0		¥0			
10	タイル工		¥0		¥0			
11	吹付工		¥0		¥0			
12	クロス工		¥166,676		¥118,053	¥48,623		
13	畳		¥0		¥0			
14	サッシメーカー		¥54,065		¥40,706	¥13,359		
15	ガラス工		¥0		¥0			
16	建具工		¥36,400		¥26,300	¥10,100		
17	経師工		¥0		¥0			
18	塗装工		¥376,234		¥310,802	¥65,432		
19	電気工		¥33,200		¥24,900	¥8,300		
20	水道工		¥45,500		¥34,200	¥11,300		
21	軽天工		¥0		¥0			
22	ガス工		¥33,200		¥24,900	¥8,300		
				工事費合計		¥6,454,686	¥4,899,752	¥1,554,934
				修正額合計			¥0	
				工事費合計-修正額合計		¥6,454,686	¥4,899,752	¥1,554,934
				消費税額		¥645,468	¥489,975	
				(切り捨て)				
				税率 (10%)			税率 (10%)	

工種集計

上記サンプルで、建材は別として金額が大きい順は、1位解体2位大工3位板金となります。



15-11 見積修正 業種別発注書作成

業種工種設定

業種別発注計算

業者名で集計し計算します

発注額修正

発注日の入力や金額の修正などを入力します

業種別発注一覧表出力

修正した業者の支払い一覧が印刷されます

業種別発注明細出力

業者単位の発注書が印刷されます

業種工種設定画面

業種工種設定画面

工種No.	工種名称	業種名称
1	本体	[(株) 本体建設]
2	解体工	[(株) 解体工業 (株) 解体工業 (有) 職建設 ○○大工
3	鷹	
4	大工	(株) ☆☆木材 (株) □□建材
5	床材	(有) △△瓦店 (有) ××板金
6	建材	(有) ○○左官 (有) ☆☆タイル (有) □□吹付工業
7	屋根工	(有) △△瓦店
8	板金工	(有) ××板金
9	左官工	(有) ○○左官
10	タイル工	(有) ☆☆タイル
11	吹付工	(有) □□吹付工業
12	クロス工	(有) △△クロス
13	畳	(有) ××畳店
14	サッシメーカー	[(株) ○○サッシ]

明細項目表示(D) 更新(U) 閉じる(X)

集計した工種の業者を決定します



15-12 見積印刷

見積書 出力

集計印刷前の金額確認	集計印刷金額確認		
工事見積書一式出力	受注	発注	
工事見積書出力	受注	発注	受発注
内装工事内訳書出力	受注	発注	
工事明細見積書出力	受注	発注	受発注

内装材集計 する しない

印刷プレビュー
プレビュー画面の左上の印刷ボタンをクリックすると印刷できます

Excel書式 出力 帳票出力設定

テキスト書式 出力

見積修正の終了(X)

集計単位を部屋別にすると、四捨五入の関係で端数が変わる場合があります、その際の手続きを確認する機能です。

一式は全印刷です

表紙・工事仕様書・工事見積書（大工事）・内装工事内訳が印刷

内装工事内訳書が印刷されます

明細が印刷されます

帳票出力設定

仕様見積書表紙 工事仕様書 工事見積書 仕様見積書明細

出力項目

金額	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	工事名称	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
罫線	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	建築場所	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
外枠	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	日付	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
書式1罫線太さ	太罫線 <input type="text" value="β"/>	消費税率の表示	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	細罫線 <input type="text" value="1"/>		
	外枠 <input type="text" value="β"/>		
書式2罫線太さ	太罫線 <input type="text" value="β"/>		
	細罫線 <input type="text" value="1"/>		
	外枠 <input type="text" value="β"/>		
罫線倍率 (全帳票共通)	<input type="text" value="β"/>		

表紙選択

表紙書式1
登録番号 有り 無し

表紙書式2
登録番号 有り 無し

エクセル書式
受注
 標準書式1
発注
 標準書式標準寄せ

取消(C) 設定読み込(L) 設定保存(S) 帳票明細日付(D) 閉じる(X)

様々な項目の印刷
有無の設定ができます
上記タブで各種書類
単位で設定できます

16 デフォルト変更



デフォルト変更とは、様々な初期値・設定を変更します。

極力一般的な数値・設定を登録して出荷していますが、全会社にマッチするわけではありません、そこを自社設定にすることで、より日々の運用が楽になります。

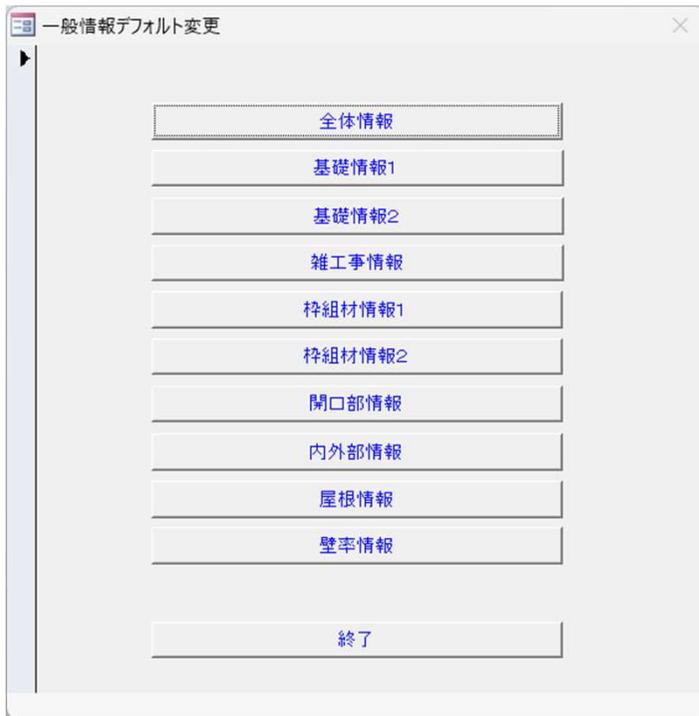


デフォルト登録起動画面
 上半分（下半分は印刷）

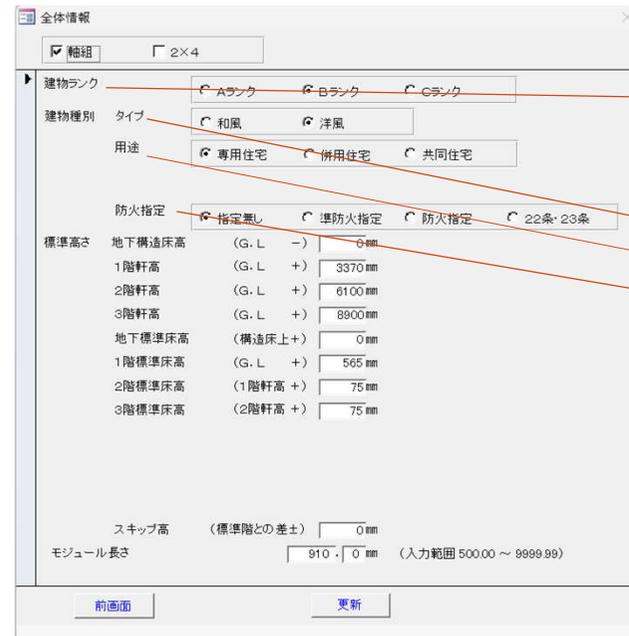
ユーティリティ起動画面

16-1 デフォルト変更

一般情報デフォルト変更



一般情報デフォルト変更は、仕様入力初期値を変更できます



デフォルト変更画面

仕様入力画面

16-2 デフォルト変更



ユーティリティ

高さ・内装デフォルト変更

高さ内装デフォルト変更では、
部屋名選択時にセットされる、
仕上材 天井高さを設定できます。

仕上はランク別にセット出来ます。

注意点としては、上から順に登録する
のではなく、使う部屋名だけセット
すればいいです。
和室等、施工しない部屋は登録不要
です。

* 入力時全て変更できます

登録時に仕上が無い場合は登録が
必要です。

17 マスター作成



マスターを作成するにあたり、名称を統一したいと思います

名 称	サンプル
大工事	仮設工事・基礎工事・木工事・外装工事・内装工事等
明細工事	外壁仕上・屋根仕上・天井仕上等
仕様	サイディング・釉薬瓦・ビニールクロス等

大工事を追加 単価登録→仕様見積単価管理→工事名称変更

工事名称変更内で、変更や追加が出来ます、工事番号の末尾の空欄で追加が出来ます。
追加した工事の受注/発注の掛率（1）や費率を設定後、修正工事に並び順を決める工事No
を入力し、更新をすると大工事が追加されます。

*大工事を削除する場合、該当大工事に仕様があると削除できません。
該当大工事内の明細・仕様を確認するには、明細工事出力順設定がお勧めです。
（後ほど説明します）

17-1 マスター作成



ユーティリティ

明細工事を追加 単価登録→仕様見積単価管理→仕様見積単価登録

明細工事項目選択画面内で500番以降の空欄を探し、メニュー下部の明細NOの空欄に該当数字を入力し明細仕様項目変更画面に入ります。

例) 空き番号700番に 明細工事=基礎補強工事 仕様=アラミド繊維を入力します

明細仕様項目変更

明細仕様項目変更

明細No 700 明細工事項目名 基礎補強工事

枝番	仕様	アラミド繊維	模様コード	0	仕様出力	<input checked="" type="checkbox"/>	0円出力	<input type="checkbox"/>	備考1行目						
1	ランク	下地1	00000	参照...	下地2	00000	参照...	下地3	00000	参照...	備考2行目				
	単位	置	受注単価	20000	最低金額	0	工事No	3	数量係数	1.0000	整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	利益率
	単位	m ²	発注単価	15000	最低金額	0	工種No	18	数量係数	1.0000	整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	25.00

* 枝番 仕様 模様コード 仕様出力 0円出力 備考1行目

閉じる(X) 模様参照(R) 計算(C) 下地登録検索(S) 単価一括変更(T) コピー(O) 貼り付け(P) 挿入(I) 削除(D) 確認(Y) 更新(U)

単位登録(H)

レコード: 1 / 1 検索

このデータを元に画面内を説明します。

17-2 マスター作成



ユーティリティ

明細仕様項目変更

明細仕様項目変更

明細No | 700 | 明細工事項目名 | 基礎補強工事

▶	枝番	仕様	アラミド繊維	模様コード	0	仕様出力	<input checked="" type="checkbox"/>	0円出力	<input type="checkbox"/>	備考1行目							
	1	ランク	下地1	00000	参照...	下地2	00000	参照...	下地3	00000	参照...	備考2行目					
		単位	m ²	受注単価	20000	最低金額	0	工事No	3	数量係数	1.0000	整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	利益率	
		単位	m ²	発注単価	15000	最低金額	0	工種No	18	数量係数	1.0000	整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	利益率	25.00
*	枝番	仕様		模様コード		仕様出力	<input checked="" type="checkbox"/>	0円出力	<input type="checkbox"/>	備考1行目							
		ランク	下地1		参照...	下地2		参照...	下地3		参照...	備考2行目					
		単位		受注単価		最低金額		工事No		数量係数		整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	利益率	
		単位		発注単価		最低金額		工種No		数量係数		整数	しない	備考出力	<input checked="" type="checkbox"/>	利益率	

工事No | 3 | 基礎工事 | 見積集計先 | 基礎工事

工種No | 18 | 塗装工 | 発注集計先 | 塗装工事 (ケレンとかあるのでなんとなくです)

閉じる(X) | 模様参照(R) | 計算(C) | 下地登録検索(S) | 単価一括変更(T) | コピー(O) | 貼り付け(P) | 挿入(I) | 削除(D) | 確認(V) | 更新(U)

単位登録(H)

レコード: 1 / 1 | フィルターなし | 検索

17-3 マスター作成

登録した明細工事に根拠をつける。

先ほど700番に新たな明細工事を登録しました。

ランクを登録することで、1㎡2万円を拾うとの説明はお話済みです。

その数量1平米の根拠を考えようと思います。（実際の工事とかけ離れますが例なので）

例1 延べ床面積全部に 基礎補強で繊維を張ります。

例2 改築の和室の床に 繊維を張ります

例3 エコキュート新設時架設台と基礎の接合に拾う

積算するにあたり、当たり前のことですが、数量×単価＝金額となりますが、これにランクが絡むことで ランク（一致時1不一致0）×数量×単価＝金額となり、Aランクは拾うBは拾わない等の設定が出来るわけです。

17-4 マスター作成



例1 延べ床面積全部に 基礎補強で繊維を張ります。

SUNCAD-ULTRA-W ユーティリティ [(No.01)関西リフォーム2024]

登録・変更・設定 | 読込(ロード) | 保存(セーブ)

単価 登録 | デフォルト 登録

格納先を選択する | 格納先を選択する

ランク注釈文設定 | 会社名・積算等 環境設定

仕様見積書表紙(新築用) 変更 | 仕様見積書表紙(RF用) 変更

積算仕様係数(新築用) 登録 | **積算仕様係数 (RF用) 登録**

備品積算対応 登録 | 部屋改築情報 (RF用) 登録

部屋電気設備 登録 | 造作材・構造材 定尺設定変更

部屋給排水・給湯設備 登録 | 立面デフォルト 変更

建具表・記号 登録 | 立面2D樹木デフォルト 変更

2×4開口マスター登録 | 2Dパターン 登録

法規用係数 変更 | 3Dパターン 登録

Walk in home 交換情報登録

Bell CAD 交換情報登録

終了(X)

処理を選択して下さい。

積算仕様係数 (RF用) 登録

積算仕様 係数管理 (RF用)

明細No.	明細工事項目名	元	変更	係数1	係数2	係数3	係数4	係数5	係数6	係数7	係数8
690	化粧梁 塗装用足場	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
691	食洗機用 給湯・排水配管	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
692	食洗機用 専用配線	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
693	妻飾り	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
694		*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
695		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
696		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
697		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
698		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
699		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
700	基礎補強工事	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
701		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
702		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
703		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
704		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
705		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
706		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
707		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
708		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
709		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
710		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
711		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

基本数量参照(B) | 計算式設定(D) | 印刷(P) | 保存(S) | 取消(C)

右のバーで700番まで下げます

17-5 マスター作成



ユーティリティ

例1 延べ床面積全部に 基礎補強で繊維を張ります。

積算仕様 係数管理 (RF用)

明細No.	明細工事項目名	元	変更	係数1	係数2
690	化粧梁 塗装用足場	*	*	0.0000	0.0000
691	食洗機用 給湯・排水配管	*	*	0.0000	0.0000
692	食洗機用 専用配線	*	*	0.0000	0.0000
693	妻飾り	*	*	0.0000	0.0000
694		*	*	1.0000	0.0000
695		*	*	0.0000	0.0000
696		*	*	0.0000	0.0000
697		*	*	0.0000	0.0000
698		*	*	0.0000	0.0000
699		*	*	0.0000	0.0000
700	基礎補強工事	*	*	0.0000	0.0000
701		*	*	0.0000	0.0000
702		*	*	0.0000	0.0000
703		*	*	0.0000	0.0000
704		*	*	0.0000	0.0000
705		*	*	0.0000	0.0000
706		*	*	0.0000	0.0000
707		*	*	0.0000	0.0000
708		*	*	0.0000	0.0000
709		*	*	0.0000	0.0000
710		*	*	0.0000	0.0000
711		*	*	0.0000	0.0000

基本数量参照

記号	基本数量名称	係数B
*	敷地面積	0.0000
a0	敷地境界線長 (道路)	0.0000
a1	敷地境界線長 (道路以外)	0.0000
a2	敷地境界線長 (全体)	0.0000
a3	建物ランク	0.0000
a4	建物階数	0.0000
a5	地下有無	0.0000
a6	入力間仕切階数	0.0000
a7	建物種別 タイプ	0.0000
a8	建物種別 用途	0.0000
a9	建物種別 防火	0.0000
a10	1階軒高 (GL)	0.0000
a11	2階軒高 (GL)	0.0000
a12	3階軒高 (GL)	0.0000
a13	1階床高 (GL)	0.0000
a14	2階床高 (GL)	0.0000
a15	3階床高 (GL)	0.0000
a16	スキップ高	0.0000
a17	基礎タイプ	0.0000
a18	基礎見え掛り高さ	0.0000
a19	基礎立上がり高さ	0.0000
a20	浄化槽の有無	0.0000
a21	建物種別	0.0000
a22		0.0000

基本数量参照(R) 計算式設定(D) 実行(G) 取消(C) 取消(C)

c0	地下増築床面積
c1	1階増築床面積
c2	2階増築床面積
c3	3階増築床面積
c4	地上延べ増築床面積
c5	延べ増築床面積
c6	地下改築床面積
c7	1階改築床面積

C4を青くし、実行すると
変更欄の*がC4と変わります
更にC4の右、係数1に1を入力

700	基礎補強工事	*	c4	1.0000
701		*		0.0000

700番の変更欄の*マークをクリックし、
基本数量参照でメニューを起動します。

ランク × C4 × 2000円 = の計算式が完成です

17-5 マスター作成



ユーティリティ

例 2 改築の和室の床に 繊維を張ります

積算仕様 係数管理 (RF用)

明細No.	明細工事項目名	元	変更	係数1	係数2	係数3	係数4	係数5	係数6	係数7	係数8
690	化粧梁 塗装用足場	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
691	食洗機用 給湯・排水配管	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
692	食洗機用 専用配線	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
693	妻飾り	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
694		*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
695		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
696		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
697		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
698		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
699		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
700	基礎補強工事	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
701		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
702		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
703		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
704		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
705		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
706		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
707		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
708		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
709		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
710		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
711		*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

基本数量参照(R) 計算式設定(D) 印刷(P) 保存(S) 取消(C)

u140	(増築床面積)その他外部土間20
v1	(改築床面積)和室
v2	(改築床面積)その他和室1
v3	(改築床面積)その他和室2

v1を青くし、実行すると
変更欄の*がv1と変わります
更にv1の右、係数1に1を入力

699		*	*	0.0000
700	基礎補強工事	*	v1	1.0000
701		*	*	0.0000

700番の変更欄の*マークをクリックし、
基本数量参照でメニューを起動します。

ランク × v1 × 2000円 = の計算式が完成です

17-6 マスター作成



ユーティリティ

例3 エコキュート新設時架設台と基礎の接合に拾う

備品積算対応のエコキュートに、セットで拾う項目の中に給湯機土台工事が登録されています。

0112	2802	刀入給湯器 30号	abc	8	354-U4	刀入給湯器	30号
0113	2810	給湯器付風呂釜	abc	8	355-03	給湯器付風呂釜	30号
0114	2820	エコキュート460L	abc	8	503-02	電気給湯器	エコキュート 460L
0115	2830	エコキュート370L	abc	8	503-01	電気給湯器	エコキュート 370L
0116	2900	ペーパーホルダー	abc	1	583-01	アクセサリ	紙巻器
0117	2905	シングルレバー混合栓	abc	2	352-03	水栓金具	シングルレバー混合栓
0118	2908	サーモスタ式混合栓	abc	2	351-03	シャワーセット	サーモスタット付
0119	2910	タオルリング	abc	1	583-02	アクセサリ	タオル掛け
0120	2920	シャワーユニット	abc	3	587-01	シャワーユニット	サーモスタ式水栓、シャワーセット、排水ユニット共
0121	2930	シャワーセット	abc	3	351-03	シャワーセット	サーモスタット付
0122	3090	式台	abc	3	408-01	式台	6尺タイプ
0123	3108	玄関収納800	abc	3	381-01	玄関収納	L=800
0124	3109	玄関収納1200	abc	3	381-02	玄関収納	L=1200

明細No	509	明細工事項目名	給湯器土台工事	
枝番		仕様	土間コン、モルタル塗共	
1	ランク	下地1	70001	参照...
	単位	式	受注単価	39000
			最低金額	
	単位	式	発注単価	29300
			最低金額	
枝番		仕様		
			模様コード	

(ランク) (明細Noの更新・削除)

(2820) エコキュート460L

No.	明細No	明細工事項目名	仕様名称	有効・無効
01	503-02	電気給湯器	エコキュート 460L	有効
02	504-01	給湯器配管工事		有効
03	505-01	電気給湯器専用配線	200V	有効
04	506-01	給湯器取付費	据付共	有効
05	565-01	電力申請費		有効
06	566-01	200Vコンセント	配線、ボックス共	有効
07	509-01	給湯器土台工事	土間コン、モルタル塗共	有効
08	413-12	設置解体	給湯器 解体、既存刀入給湯器共	有効

★先ほどの設定改築和室は、面積で換算しますこの給湯器土台は1式で登録されています。そのため下地として登録されているアラミドも1が加算されます。

例3では、509-01の土台の下地に基礎補強アラミド繊維を登録します、そうすることで土台を拾う場合に繊維が同時に拾います。

17-7 マスター作成 (Z根拠作成)



ユーティリティ

前ページまでの根拠は、全て登録済根拠の引用でした（c4延床やv1改築和室）等
ココでは、根拠が無い場合の作成を説明します。

SUNCAD-ULTRA-W ユーティリティ [(No.01)関西リフォーム2024]

登録・変更・設定 | 読み込み(ロード) | 保存(セーブ)

単備 登録 | デフォルト 登録

格納先を選択する | 格納先を選択する

ランク注釈文設定 | 会社名・積算等 環境設定

仕様見積書表紙(新築用) 変更 | 仕様見積書表紙(RF用) 変更

積算仕様係数(新築用) 登録 | **積算仕様係数 (RF用) 登録**

備品積算対応 登録 | 部屋改築情報 (RF用) 登録

部屋電気設備 登録 | 造作材・構造材 定尺設定変更

部屋給排水・給湯設備 登録 | 立面デフォルト 変更

建具表・記号 登録 | 立面2D樹木デフォルト 変更

2×4開口マスター登録 | 2Dパターン 登録

法規用係数 変更 | 3Dパターン 登録

Walk in home 変換情報登録

Bell CAD 変換情報登録

終了(X)

処理を選択して下さい。

積算仕様 係数管理 (RF用)

明細No.	明細工事項目名	元	変更	係数1	係数2	係数3	係数4	係数5	係数6	係数7	係数8
001	水盛遣方・墨出し	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
002	外部足場架組込損料	*	*	0.5000	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
003	屋根足場架組込損料	*	*	60.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
004	内部移動足場損料	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
005	吹抜足場架組込損料	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
006	仮設電気	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
007	仮設水道	*	*	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
008	養生費	*	*	1.0000	2.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
009	掃除・片付け	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
010	産廃処分費	*	c5	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
011	外部 養生費	*	*	0.5000	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
012	雑費	*	*	0.1000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
013	安全器材損料	*	*	0.1000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
014	既存建物調査料	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
015	荷揚費	*	*	0.8000	0.1428	0.8000	0.0357	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
015	荷揚費(重量算出用)	*	*	0.0060	0.0400	0.0040	0.0010	0.0090	0.0080	0.0430	0.0000
016	小運搬費	*	*	0.0094	0.1200	0.2350	0.0045	0.0098	0.0135	0.0180	2.5000
016	小運搬費(重量算出用)	*	*	0.0060	0.0400	0.0040	0.0010	0.0090	0.0080	0.0430	0.0000
017	共用部分(エントランス・廊下)養生	*	*	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
021	基礎	*	*	0.6000	0.0000	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
022	布基礎(フーチングのみ)	*	*	0.0650	0.0000	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
023	ベタ基礎立上り	*	*	0.6000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

基本数量参照(B) | **計算式設定(D)** | 印刷(P) | 保存(S) | 取消(Q)

ここで計算式を作成します

17-8 マスター作成 (Z根拠作成)



ユーティリティ

計算式付基本数量タイプ選択

タイプNo	名称	計算式	
Z 0	増改築床面積	c5+c11	選択
Z 1	増改築施工面積	d5+d11	選択
Z 2			選択
Z 3	軒先・ケラバ	l45+l42	選択
Z 4	種・隅種	l41+l44	選択
Z 5			選択
Z 6			選択
Z 7			選択
Z 8			選択
Z 9			選択
Z 10			選択
Z 11			選択
Z 12			選択
Z 13			選択
Z 14			選択

選択したい行のどこをクリックしても選択できます。

終了

基本数量タイプ 計算式入力

基本数量タイプNO: Z7 名称: 式チェックなし保存終了 式チェック後 保存終了

← → y

計算式

基本数量タイプ	名称 (参照/入力用)	試算用数量	キーボード入力時 計算式にカーソルを移動
0	敷地面積	200.0000	a0
1	敷地境界線長 (道路)	14.1200	a1
2	敷地境界線長 (道路以外)	42.3600	a2
3	敷地境界線長 (全体)	56.4800	a3
4	建物ランク	2.0000	a4
5	建物階数	2.0000	a5
6	地下有無	1.0000	a6
7	入力間仕切階数	2.0000	a7
8	建物種別 タイプ	2.0000	a8
9	建物種別 用途	1.0000	a9
10	建物種別 防火	0.0000	a10
11	1階軒高 (GL)	3.3700	a11
12	2階軒高 (GL)	6.1000	a12
13	3階軒高 (GL)	8.9000	a13
14	1階床高 (GL)	0.5600	a14
15	2階床高 (GL)	3.4400	a15
16	3階床高 (GL)	6.1700	a16
17	スキップ高	1.0000	a17
18	基礎タイプ	1.0000	a18
19	基礎見え掛り高さ	0.4000	a19

参考資料から入力
 名称・式削除
 1文字削除 BackSpace
 (< >)
 * -
 / +
 7 8 9
 4 5 6
 1 2 3
 0 .
 条件式 (成立時: 1)
 []
 < >
 =
 式チェック計算

基本数量タイプ選択 ← | → 基本数量タイプ選択 結果表示

空欄が登録可能な欄です
Z7をクリックします

17-9 マスター作成 (Z根拠作成)



ユーティリティ

①

基本数量タイプNO 27 名称 既存の周長 式チェックなし保存終了 式チェック後 保存終了

計算式 f1-f13

基本数量タイプ	名称 (参照/入力用)	試算用数量	キーボード入力時 計算式にカーソルを移動
0	地下外周長 (全体)	19.0000	f0
1	1階外周長 (全体)	34.0000	f1
2	2階外周長 (全体)	28.0000	f2
3	3階外周長 (全体)	25.0000	f3
4	地上延べ外周長 (全体)	87.0000	f4
5	延べ外周長 (全体)	100.0000	f5
6	地下増築外周長	8.0000	f6
7	1階増築外周長	19.0000	f7
8	2階増築外周長	16.0000	f8
9	3階増築外周長	15.0000	f9
10	地上延べ増築外周長	50.0000	f10
11	延べ増築外周長	58.0000	f11
12	地下増築外周一致長	3.0000	f12
13	1階増築外周一致長	4.0000	f13
14	2階増築外周一致長	8.0000	f14
15	3階増築外周一致長	5.0000	f15
16	地上延べ増築外周一致長	17.0000	f16
17	延べ増築外周一致長	20.0000	f17
18	増:外壁面積(主仕上材)	61.0000	f18
19	増:外壁面積(仕上変更材)	24.0000	f19

基本数量タイプ選択 ← → 基本数量タイプ選択 結果表示

バーを左右にスライドしてA~Wを選択

今回は既存の基礎に施工する根拠が欲しいので探しましたが無かったため、作成します。
 使いそうな根拠 f1=1階の全周長
 f13=1階増築外周一致長
 この2つで引き算で既存の周長を求めます。

- ①名前の登録
- ②スライダーを右に動かし f を表示
- ③の欄から f1をクリック
- ④マイナスをクリック
- ⑤ ③の欄から f13をクリック

①の名称の下の赤枠に計算式
 f1-f13 が表示されていれば完成

右上の式チェック後保存終了で閉じます。
 この段階で簡易計算がされ問題があればメッセージが出ます。

17-10 マスター作成 (Z根拠作成)

作成登録した
Z式は基本数量参照の
末尾に追加されます。

基本数量参照(B)

記号	基本数量名称
w182	(壁面積拾い)タイプ32
w183	(壁面積拾い)タイプ33
w184	(壁面積拾い)タイプ34
w185	(壁面積拾い)タイプ35
w186	(壁面積拾い)タイプ36
w187	(壁面積拾い)タイプ37
w188	(壁面積拾い)タイプ38
w189	(壁面積拾い)タイプ39
w190	(壁面積拾い)タイプ40
w191	(壁面積拾い)タイプ41
w192	(壁面積拾い)タイプ42
w193	(壁面積拾い)タイプ43
w194	(壁面積拾い)タイプ44
w195	(壁面積拾い)タイプ45
w196	(壁面積拾い)タイプ46
w197	(壁面積拾い)タイプ47
w198	(壁面積拾い)タイプ48
w199	(壁面積拾い)タイプ49
w200	(壁面積拾い)タイプ50
z0	増改築床面積
z1	増改築施工面積
z3	軒先・ケラバ
z4	棟・隅棟
z7	既存の周長

実行(O) 取消(O)



ユーティリティ

計算式の作成画面の一部です
計算式の作成は、下記メニュー
で作成します。

* = ×

/ = ÷ です

カッコもあるので、ある程度の
計算式も作成できます。

下に条件式があるのですが、
メニューのカッコ内が成立
した場合1となる条件です
成立しない場合0となります。
その為、掛け算で使用した場合
×1なら有効、×0なら0で無効
となる様な計算式が作成できます。
><=等をあわせることで、
〇〇より多い場合有効などです。

参考資料から入力		
名称・式削除		
1文字削除	BackSpace	
()	
*	-	
/	+	
7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	.	
条件式(成立時:1)		
[]	
<	>	=
式チェック計算		

参考資料から入力にサンプルあり